

バックパック ユーザーガイド

バージョン2



2024

CHEMWATCH

メルボルン、オーストラリア

目次

ユーザーガイドについて.....	2
アプリケーションについて.....	3
ユーザーログインについて	5
機能メーターについて.....	8
1.0 導入	9
1.1 バックパック・ライト	10
2.0 検索、フォルダの作成および製品の追加.....	12
2.1 製品を検索する	13
2.1.1 名称検索	13
2.1.2 ベンダー名検索	18
2.1.3 自己フォルダから検索する.....	19
2.1.4 詳細検索オプション.....	21
2.2 フォルダツリーを作成する	29
2.2.1 フォルダの種類とプロパティ	29
2.2.2 エリア用のフォルダを作成する.....	32
2.2.3 新規フォルダを追加する	37
2.2.4 フォルダを編集する	38
2.2.5 フォルダに製品を追加する.....	43
2.2.6 製品のコピー／移動／削除.....	47
3.0 レポートの印刷、ダウンロードおよび共有.....	53
3.1 リストの印刷	54
3.2 ベンダーSDSを印刷する.....	56
3.3 ベンダーSDSをダウンロードする.....	57
3.4 ベンダーSDSを共有する	58
3.5 レポート生成機能を使ってレポートを作成する.....	60
4.0 優先名および製品番号	62
4.1 優先名を作成する	62
付録	64
SDDの構造.....	64
GHSのピクトグラムと危険物標識	67
分類ガイド（アイコンの説明）	69
NFPAダイヤモンド	70
ケムウォッチEラーニング	72

ユーザーガイドについて

バックパック・ユーザーガイドは、ケムウォッチの最新の化学品管理システムの開発プロジェクトに基づくもので、バックパックのユーザー様を対象としています。労働安全衛生要件に則して化学品を管理するためのプラットフォームである「バックパック」システム内で利用可能な、さまざまなモジュールに関するトピックを取り上げています。

このガイドを通して、下記のようなアイコンやボタンが使用されています。

モジュール

 ホーム コアモジュール	 設定 管理者用
 リクエスト オプションのアクセス	リスクアセスメント ライセンスに基づくオプション 注意：このモジュールの説明は、このガイドに含まれておりません。

機能

 機能メーター	 SDSの印刷、共有またはダウンロード
 在庫リストと危険有害性 	 在庫にフィルタをかける 
 フォルダ管理	 レポート生成機能
 ヘルプまたはサポート	

情報参照

情報アイコンでは、トピックやセクションの詳細情報をご確認いただけます。 

アプリケーションについて

バックパックは、下記のような最新かつ一般的なブラウザに対応している、ケムウォッチのWebアプリケーションであり、当社が提供する化学品管理スイートの最新版です。よりシンプルかつ直感的に操作できるようにデザインされていると同時に、企業や組織が化学品の在庫と安全データシート（SDS）を、労働安全衛生要件に沿って管理できるよう、設計されています。またバックパックでは、マイクロサービス・アーキテクチャを採用しています。小規模なアプリケーションやサービスの調和のとれた集合体が、貴社の化学品管理ニーズに応える化学品管理ソリューションを形成しているとお考えください。AWSのコンピューティング能力により拡張性が高まり、信頼性も向上しました。システム内の一部分がダウンしても、他の部分は影響を受けず、中断のない動作が保証されます。重要な利点としては、驚くべき速度と応答性が挙げられます。さらに、システムの各部分を独立して展開することで、データの素早い作成や更新が可能となりました。そのようなデータは、安全性や互換性を考慮し、地域ごとに公開できるようになりました。

一般的なブラウザ

ウェブブラウザ	ブラウザの仕様	推奨度
 Google Chrome	最新版のGoogle Chrome	★★★★★
 Firefox	最新版のMozilla Firefox	★★★★☆
 Edge	最新版のEdge	★★★★☆
 Apple	Safari（最新版が推奨されます）	★★★★☆

 作業環境でご利用いただくブラウザの詳細については、貴社のドメイン管理者かネットワーク管理者にお問い合わせください。

このWebアプリケーションは WindowsとMacの両方で動作しますが、インターネット接続が必要であり、スマートフォンやタブレット上でのご利用には、完全には対応しておりません。

スマートスイート・モバイルアプリ

ケムウォッチでは、標準ライセンスへの追加パッケージとして、iOSとAndroidに対応したモバイルアプリを提供しています。このスマートスイートは、当社の最新のモバイルアプリであり、さまざまな機能へのアクセスを備えた、ワンストップショップです。リスクアセスメントやバーコードを使用した化学品の在庫管理を含む、様々な機能が搭載されています。

	モバイルアプリ	機能	
	スマートスイートアプリ 化学物質 管理モード	スマートベンダー	ベンダーSDS
		スマートゴールド	ケムウォッチSDS
		スマートミニ	ハザード概要SDS
		スマートER	緊急通報
		スマートCobra	リスクアセスメント
		スマートラベル	化学品表示ラベル
	スマートスイートアプリ 在庫管理モード	検索&閲覧	検索エンジン
		在庫	製品リスト
		確認	在庫の確認と棚卸し
		設定	機能と携帯の設定

 スマートスイートの詳細については、japan@chemwatch.netまでお問合せください。

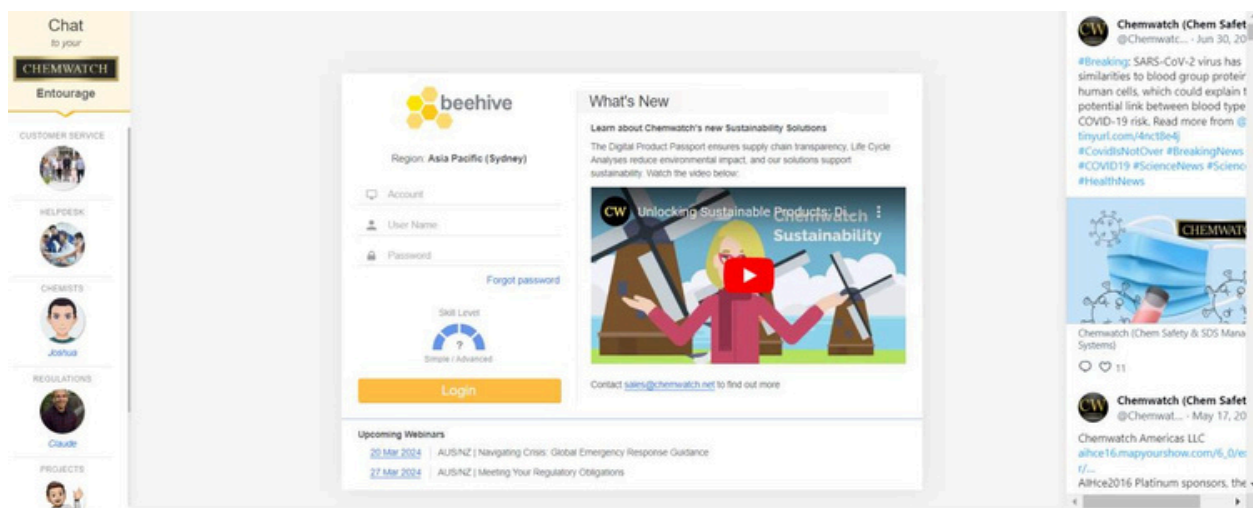
ユーザーログインについて

ケムウォッチのシステムには、こちらのアドレスからオンラインでアクセスしてください: <https://beehive.chemwatch.net/login>

ログインページ

システムのログインページには、以下が表示されています:

- チャット担当者
- ログイン情報欄: アカウント、ユーザー名およびパスワード
- お知らせ
- ケムウォッチ X (旧Twitter) パネル



ログインページ要素	機能	概要
パスワード保存 ☒ Remember me	ログイン情報を保存するためのチェックボックス	チェックボックスに ☒ が入っている場合には、アカウントやユーザーの情報がブラウザに記憶されます。
Forgot password	パスワードの変更	パスワードを変更するための自動メールをお送りし、そこから新しいパスワードを設定していただくことが可能となります。
Register	日付けのリンク	リンクをクリックすると、ウェビナーへの参加登録フォームが開きます。
	機能メーター	シンプルからアドバンスまで、さまざまなスキルレベルを選択していただけます。

Chat	チャット担当者	画面左端の欄より、担当者とチャットで会話をして頂くことが可能です。部門ごとに分かれたこのサービスは、年中無休で提供しています。ご質問やご要望がある場合には、こちらからいつでもテキストメッセージをお送り下さい。
X（旧Twitter）	X-ケムウォッチのフィード投稿	X（旧Twitter）でケムウォッチが投稿したコメントや写真が、こちらに表示されます。

ユーザー、役割および権限

管理者はシステムへのフルアクセスと管理権を有し、ユーザー管理オプションからユーザーのアクセスと権限を調節し、表示画面やSDSおよびその他のモジュールの設定を行うことができます。システム設定の「ユーザー管理」からは、ユーザー、グループおよび役割を作成し、それぞれに権限を付与することが可能です。ユーザーは、割り当てられた役割のアクセス件や権限に応じて、異なるレベルの機能を使用することができます。フォルダのアクセス権の種類は、読み取り専用から管理者用の読み取り／書き込み権まで、さまざまです。以下の表には、当社が推奨するユーザーの役割や、ドメイン管理者、上級ユーザー、および一般ユーザーの概要がまとめられています。

役割	ユーザーの種類	概要	権限
ドメイン 管理者	管理者の代表	システムへのフル アクセス	システム全体に対する読み取り／書き込み権を持つフルアクセスで、ユーザーを作成したり、各ユーザーの役割やアクセス権を管理することができます。
 管理者	フォルダおよび在庫の管理（読み取り／書き込み）	フォルダや在庫／マニフェストの管理	フォルダや製品の情報を編集することができ、付与された権限のみ行使することができます。データの管理も可能で、レポート生成機能、ダッシュボード、文書フィルタツールおよびその他の機能を使用することもできます。
 一般	一般ユーザー（読み取り専用）	特定のフォルダのみへの読み取り専用アクセス	データを読み取ることや、製品を検索することができます。ドメイン管理者から付与された権限等に応じて、様々な文書を閲覧していただけます。

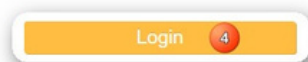
-  組織や企業のアプリケーション「管理者」の方々には、ユーザーアクセス、アクセス権および権限の設定や、システムにアクセスする際の認証方法について、作業をお任せすることとなります。ユーザーの権限等に関わるご質問がございましたら、japan@chemwatch.netまでご連絡いただくか、クイックチャット・パネルより、チケットを発行してください。

手動のログイン

登録されたユーザーには、システムのURLや一時パスワードが掲載された、Eメール通知をお送りします。ログイン情報を入力すると、有効期限内に一時パスワードを変更するよう促されます。

手順：手動でログインする

1. アカウント名を入力する
2. ユーザー名を入力する
3. パスワードを入力する
4. ログインボタンを押す

A white login form with rounded corners and a subtle shadow. It contains three input fields stacked vertically. The first field is labeled "Account" with a red circle containing the number "1". The second field is labeled "Username" with a red circle containing the number "2". The third field is labeled "Password" with a red circle containing the number "3". Each field has a small icon to its left: a speech bubble for "Account", a person icon for "Username", and a lock icon for "Password".

機能メーターについて

「基本」から「高度」までのシステムのレベルを調節するには、機能メーターをご利用ください。基本モードではご利用いただける機能が限られ、高度なレベルをお選びいただくと、全機能がご利用可能となります。

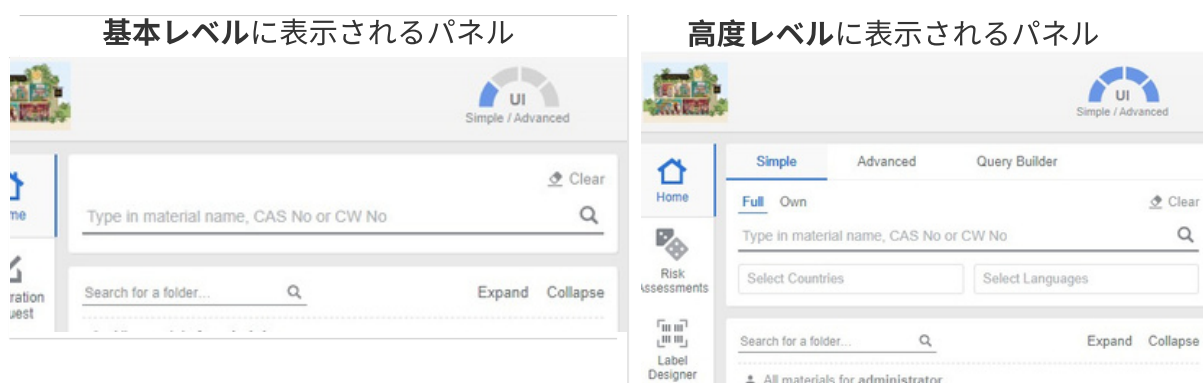
機能メーターとは？



機能メーターは、パネルや機能などの「基本」と「高度」のオプションを切り替えるための、スキルレベル・メーターです。

この機能の主要な目的は、複雑さを軽減するための明確な階層を提供することです。画面に表示される内容が制限されるので、重要なことに集中しやすくなります。

メーターの程度により、表示されるモジュールやパネルがかわります。



- 機能メーターは、表示画面の言語、チャット、印刷、ダウンロードおよび共有などの、標準のデフォルトボタンやアイコンには影響を与えません。フォルダや製品テーブル上の製品の編集には、Windowsコンピュータでは右クリックを、Macコンピュータ上では左クリックをご利用ください。表示されるパネルの種類やそれらへのアクセスは、管理者から付与されたユーザーの権限により異なる場合があります。

1.0 導入

バックパックは、職場で使用、保管、または輸送される化学品の在庫とSDSの基本的な管理を目的として開発された、ケムウォッチのウェブアプリケーションです。

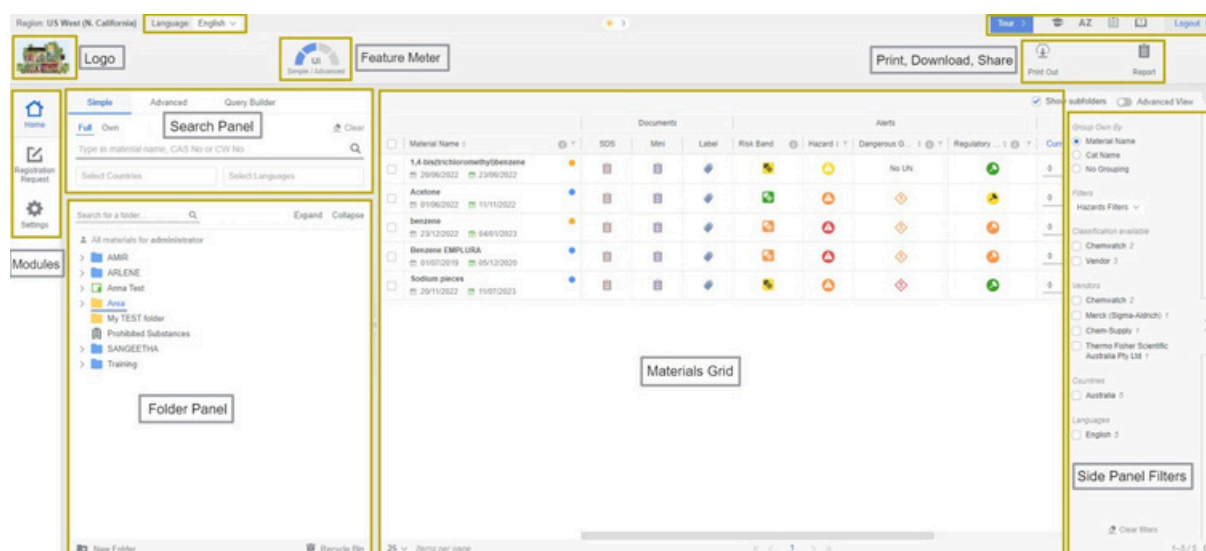
新しいシステム構造の利点

このアプリケーションは、マイクロサービス・アーキテクチャを採用しています。これは、小さなアプリやサービスがミツバチの巣のような集合体を形成し、ひとつの大きなアプリケーションを形成していることを意味します。アマゾン・ウェブ・サービス（AWS）のコンピューティング能力により、拡張性に優れ、システムの一部がダウンしても、他の部分は影響を受けないため、より高い信頼性を誇ります。システムの一部を独立して更新できるため、変更事項の反映がより迅速となり、クライアントデータの越境を避け、地域的にご利用いただくことも可能となりました。

モジュール

バックパックの現在の基本パッケージは、次のモジュールで構成されています：

- ・ ホームモジュール
- ・ リクエストモード
- ・ 設定 モジュール
- ・ 登録リクエストモード



モジュール	概要
ホーム 	検索パネル、フォルダ構造、製品テーブル、サイドパネル・フィルタの要素を備えた、システムの中核となるモジュールです。

モジュール	機能
登録リクエスト 	このモジュールは、SDSや在庫のリストをアカウントにアップロードする際にご利用いただける、登録リクエスト用のフォームです。
設定 	ユーザー管理、SDSの設定、フォームビルダ設定、表示画面の言語設定など、管理者のご利用に適した、設定モジュールです。

 ユーザー登録の詳細については、ドメイン管理者かネットワーク管理者にお問い合わせください。このガイドでは、設定モジュールのご利用方法については触れません。

このガイドには、以下のトピックが含まれており、内容は高度な機能へのアクセス権をお持ちの方を対象としています。

- バックパック・ライト
- 組織のニーズに合わせて、SDSのフォルダを設定する
- SDSの簡易アクセスライブラリを作成する
- 全データまたは自己インベントリから製品を検索する
- 自己組織のインベントリから製品を検索する
- SDSをカスタム・ライブラリに追加する
- フォルダのプロパティ
- インベントリのリストかSDSを印刷、シェアおよびダウンロードする



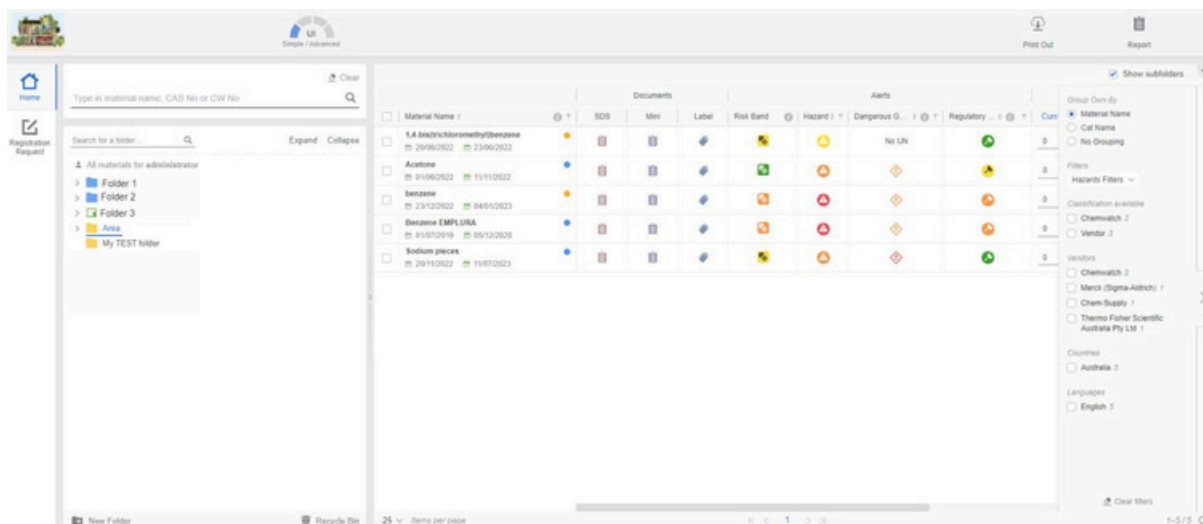
1.1 バックパック・ライト

バックパック・ライトは、機能メーターのレベル1となる、最も基本的なシステムです。管理者から機能メーターの最低レベルへのアクセスを付与されたユーザー様は、このバックパック・ライトをご利用いただくこととなります。表示画面は簡潔であり、ご利用方法も簡単です。

機能メーターのレベル1とは？



機能メーターのレベル1は、バックパック・ライトです。バックパックのシステムの中の、非常に限定された機能を、使いやすい画面で、自社で保有している資料やSDSの検索をするためにご利用いただけます。

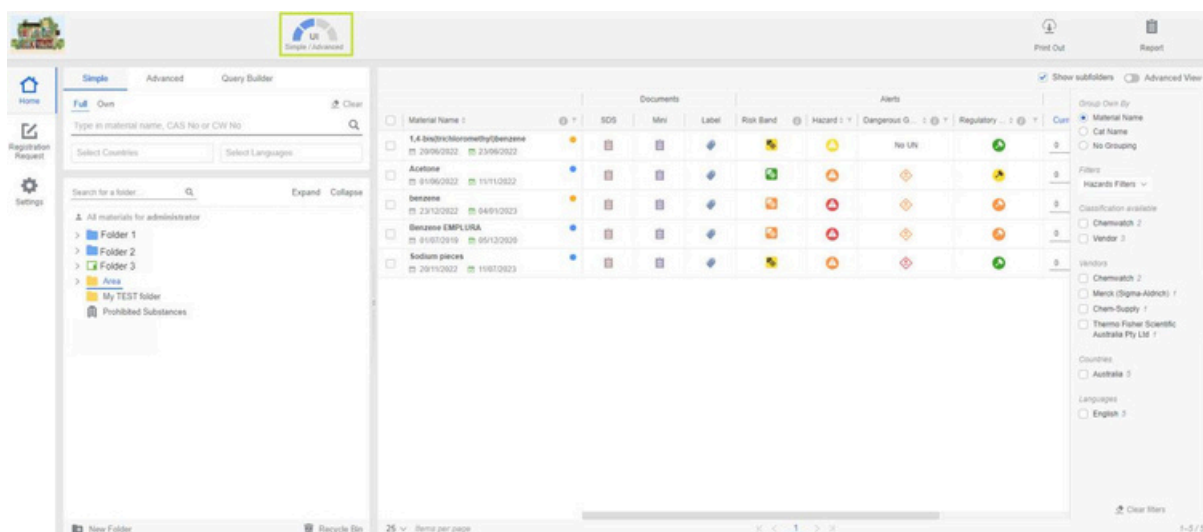


機能メーターのレベル2とは?



機能メーターのレベル2は、バックパックシステムの上級版を使用されるユーザー様向けです。書き込み権を有するユーザーができること:

- ・ 簡易または詳細モードを用いて、製品を検索する
- ・ クエリ機能を用いて、製品を検索する
- ・ フォルダの作成およびフォルダプロパティの編集
- ・ 物質を追加、移動、コピー、削除する
- ・ リストまたはSDSを印刷、共有またはダウンロードする



2.0 検索、フォルダの作成および製品の追加

この章では、以下のアクティビティについて解説しています：

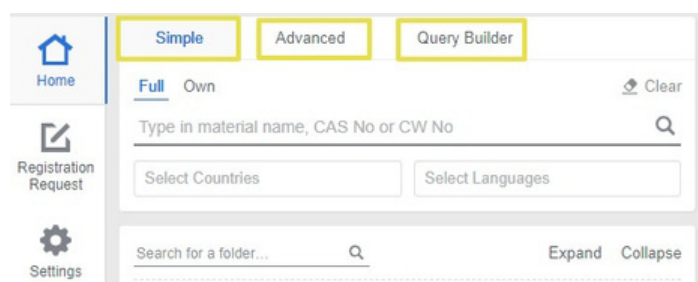
- 簡易モードを用いて製品を検索する
- 詳細モードを用いて製品を検索する
- クエリビルダを用いて製品を検索する
- フォルダを作成する
- フォルダを検索する
- フォルダを編集する
- フォルダ・プロパティ
- フォルダに製品を追加する
- リストやSDSを印刷、共有またはダウンロードする

含まれる
トピック

検索パネル

検索パネルには以下のモードが含まれます。

- ・ 簡易
- ・ 詳細
- ・ クエリビルダ



シンプル検索モードでは、製品名、CAS番号またはCW番号を用いて、製品を簡単に検索することができます。特定の製品のSDSを見つける上で、最も一般的な検索オプションです。以下の表には、詳細検索やクエリビルダ検索オプションについての概要を提供しています。

検索オプション	説明
詳細検索	名称、CAS番号、CW番号、成分のCAS番号、危険物等級、容器等級、Rコード、サブリスク、国連番号、ENINECS、製品番号、ベンダー、化学構造、毒物スケジュール、カタログ番号およびハザード評価による検索が可能。
クエリビルダ	事前に作成したクエリ（演算子の種類や文字列を指定）を使用して、製品を検索します。検索を実行する前に、クエリを作成しておかなければならない点にご注意ください。

2.1 製品を検索する

この章では、以下のアクティビティについて解説しています：

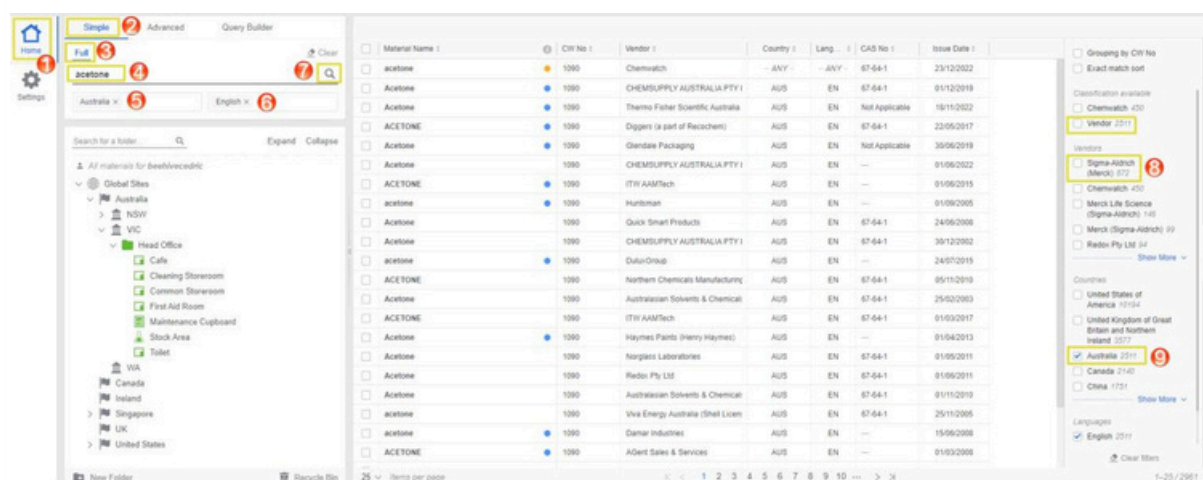
- 製品名を用いて製品を検索する
- ベンダー名を用いて製品を検索する
- 検索結果にフィルタを適用する
- 様々な種類のSDSを表示する
- 詳細オプションを使用して検索を実行する

含まれる
トピック

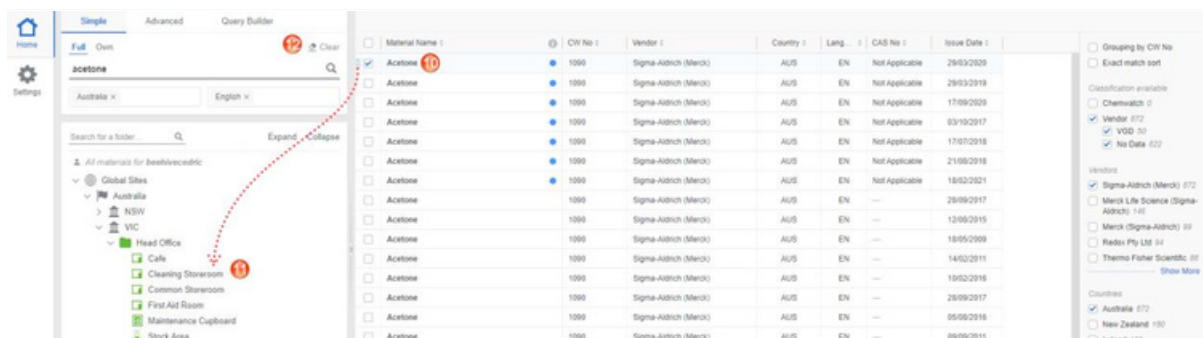
2.1.1 名称検索

ケムウォッチの全データコレクションから、オートコンプリート機能を用いて、製品名称からベンダーSDSを簡単に検索する方法は、以下のとおりです。

手順：全データから検索し、製品のSDSを追加する

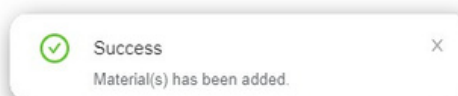


1. ホーム モジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データを選択し、検索対象を指定する。
4. 検索テキストボックスに製品名を入力する。
5. 国をクリックし、国を指定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。
7. 虫眼鏡 をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行されます。
8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、製品リストをさらに特定のメーカー（Sigma Aldrich など）の製品のみに絞る。
9. 国のチェックボックスは、検索設定に基づき既に選択されていますが、ここで更に国を追加することも可能です。



10. 文書名横のボタンを、移動先のフォルダにドラッグ & ドロップする (例: 保管フォルダ)。
11. フォルダ名をクリックし、レコードを確認する。
12. 検索パネルにあるクリアボタンを押す。

フォルダに製品が追加されると、確認のメッセージが表示されます。

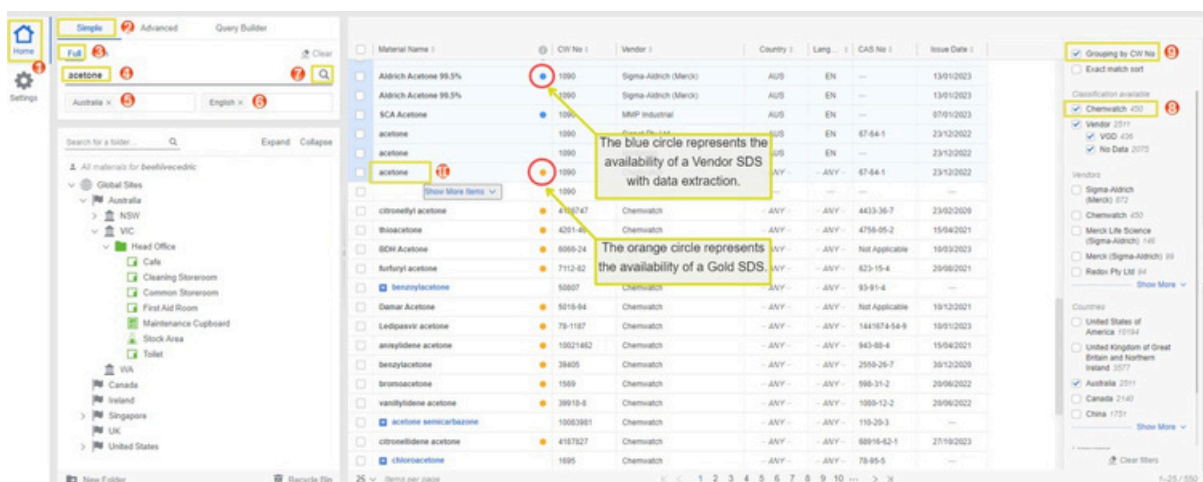


- ① 該当する物質や化学品が存在する場合には、検索結果リストに表示されますが、もしそれが見つからない場合には、「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。その場合には、最新版のベンダーSDSを必ず添付の上、ベンダーSDSをアップロードするリクエストを msdsuploads@chemwatch.net まで、Eメールで送信してください。

2.1 1.1 製品を検索しゴールドSDSを表示する

製品の検索結果から、ゴールドSDSを表示させる手順は、以下のとおりです。

手順: 製品を検索し、ゴールドSDSを表示する



1. ホームモジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 検索テキストボックスに製品名を入力する。
5. 国をクリックし、国を指定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。

7. 虫眼鏡 をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行されます。
8. 右側のサイドパネルにあるベンダーチェックボックスからチェックを外し、ケムウォッチの製品のみを表示させる。
9. cw番号でグループ化にチェックを入れる。
10. オレンジ色の丸がついた製品名をクリックし、ゴールドSDSを生成する。
11. 検索パネルにあるクリアボタンを押す。

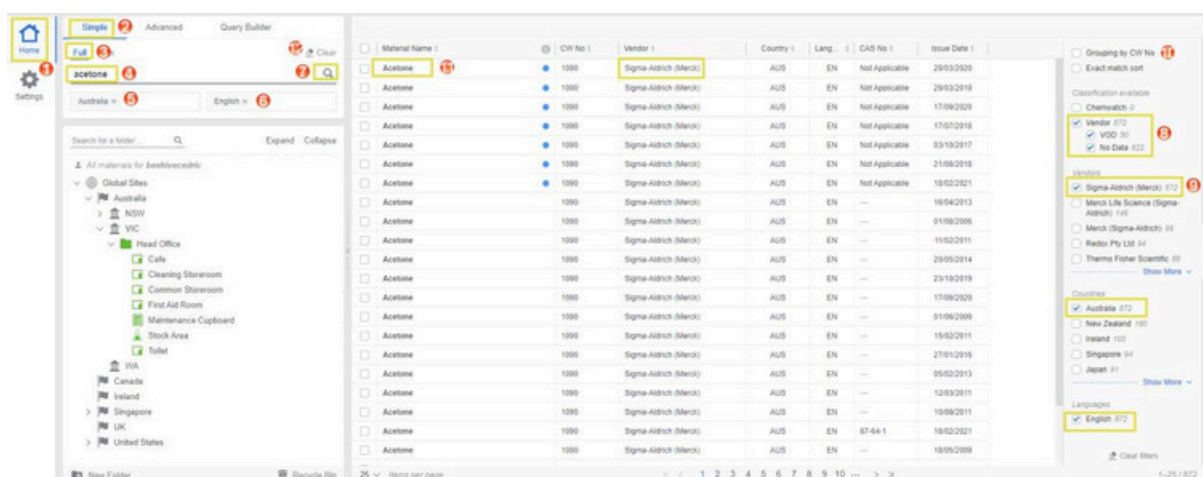
- ① ゴールドSDSとは、ケムウォッチの化学者が作成したSDSであり、SDSの各設定でデフォルト指定された国、言語および様式（GHSまたはローカル）で表示されます。上のゴールドSDSの例では、国はオーストラリア、言語は英語で、SDSの様式はGHSです。これらの設定は、データが事業を営む国の要件を満たすよう、ビジネスの管轄地域にもとづき適用されます。ゴールドSDSのカスタマイズも、限られたセクションでは可能です。カスタマイズが可能なアイテムは、会社や組織のロゴの変更や、緊急連絡先情報などです。

2.1.1.2 製品を検索しベンダーSDSを表示する

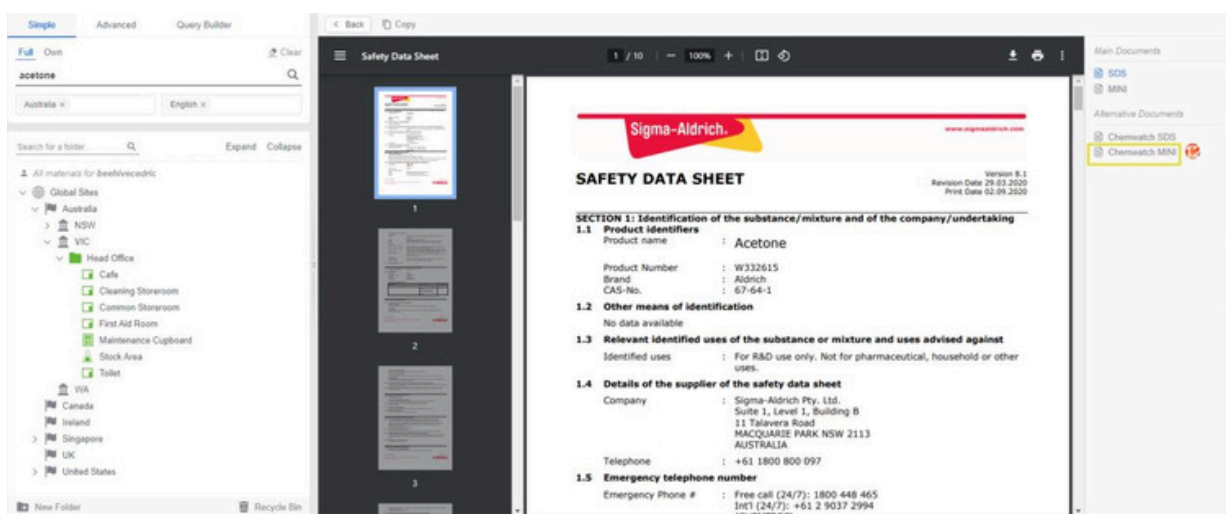
製品検索結果から、ベンダーSDSを探して表示する手順は以下のとおりです。

- ① 該当する物質や化学品が存在する場合には、検索結果リストに表示されますが、もしそれが見つからない場合には、「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。その場合には、最新版のベンダーSDSを必ず添付の上、ベンダーSDSをアップロードするリクエストを msdsuploads@chemwatch.net まで、Eメールで送信してください。

手順：製品を検索しベンダーSDSを表示する



1. ホームモジュール  を開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 検索テキストボックスに製品名を入力する。
5. 国をクリックし、国を指定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。
7. 虫眼鏡  をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行されます。
8. サイドパネルでベンダーのチェックボックスに印を入れ、分類（例えばVGD＝ベンダーの分類）の有無により、更にフィルタをかける。
9. サイドパネルのチェックボックスでベンダー名を選択し、特定のベンダーに属する製品のみをリストに表示させる。
10. CW番号でグループ化のチェックを外す。
11. 青色の丸が付いた製品名をクリックし、ベンダーSDSを表示する。
12. 検索パネルのクリアボタン  を押す。

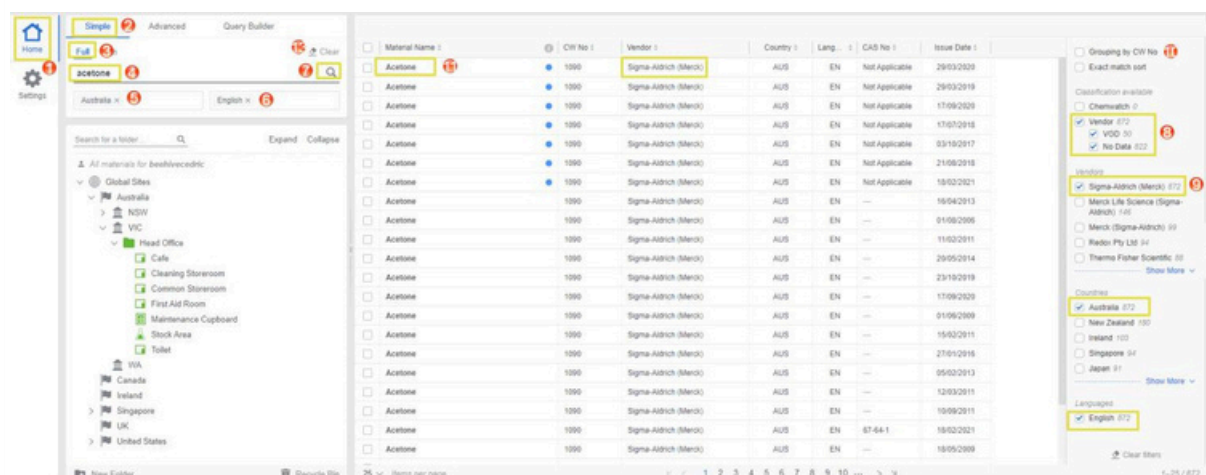


2.1.1.3 製品を検索しミニSDSを表示する

サイドパネルからケムウォッチのミニSDSを検索して表示する方法は、次のとおりです。

- i** ケムウォッチのミニSDSは1ページにまとめたレポートであり、通常は緊急対応時に有効です。製品の分類、グラフィック情報、組成、職業ばく露限度値、GHS危険有害性分類、主要な健康有害性、保護具（PPE）、物理的特性、緊急対応用アイコン、応急措置および他の分類済み化学品との混触危険性について、情報を提供しています。ケムウォッチが抽出／作成したデータが存在する場合には、ミニSDSが閲覧可能となります。

手順: 製品を検索し、ケムウォッチのミニSDSを表示する



1. ホーム  モジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 検索テキストボックスに製品名を入力する。
5. 国をクリックし、国を指定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。
7. 虫眼鏡  をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行されます。
8. サイドパネルでベンダーのチェックボックスに印を入れ、分類（例えばVGD＝ベンダーの分類）の有無により、更にフィルタをかける。
9. サイドパネルのチェックボックスでベンダー名を選択し、特定のベンダーに属する製品のみをリストに表示させる。
10. cw番号でグループ化のチェックを外す。
11. 青色の丸が付いた製品名をクリックし、ベンダーSDSを表示する。
12. サイドパネルの代替文書から「ミニ」オプションを選択する。
13. 検索パネルにあるクリアボタン  を押す。

- i** ミニSDSの国、言語および様式は、格納するフォルダの国と言語の設定にもとづきます。SDSをフォルダに格納する前に、フォルダのプロパティから、国と言語を指定してください。フォルダに付与できる国は1ヶ国のみですが、言語については複数言語を指定することも可能です。

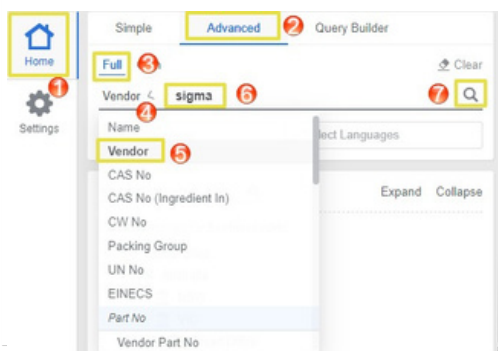
2.1.2 ベンダー名検索

- i** ベンダーは、サプライヤまたはメーカーと呼ばれることもあります。ベンダーは、市場や作業場に出回っている製品の最新の安全データシート（SDS）を提供し、そこに含まれる情報をいつでも参照できるようにしなければなりません。

以下の手順は、特定のベンダーの製品を検索する方法です。この種の検索には、検索パネル内にある「詳細検索」タブを使用します。

手順：ベンダー名で検索し、メーカーのSDSを表示する

1. ホーム  モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称の横のドロップダウンメニューを開く。

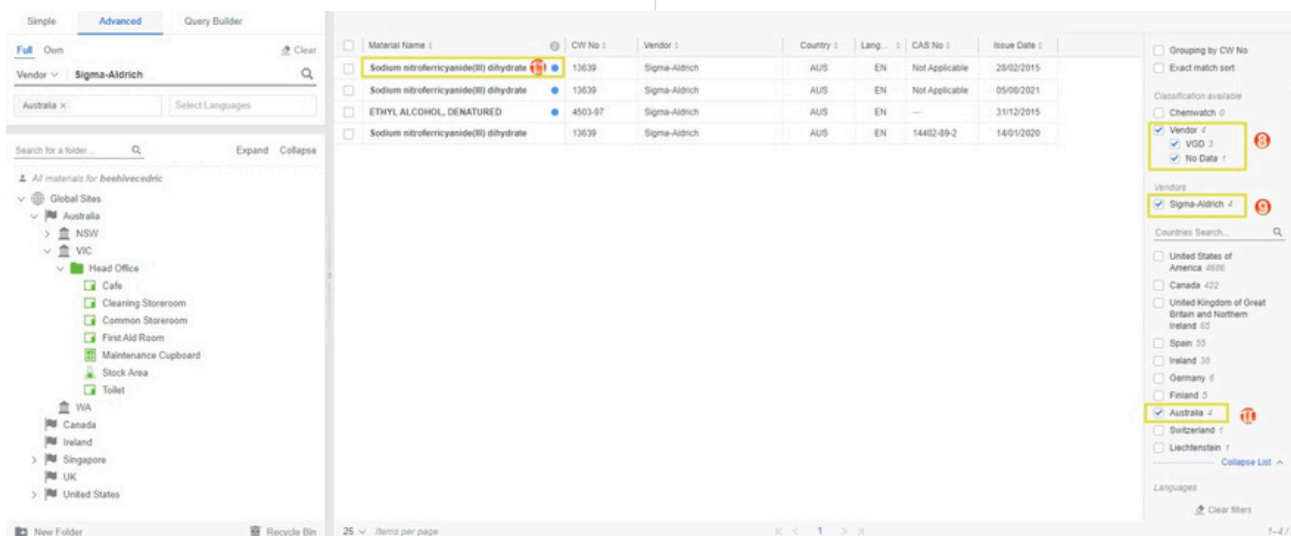


5. メニューからベンダーを選択する。
6. ベンダー名（例：Sigma-Aldrich）を検索テキストボックスに入力する。

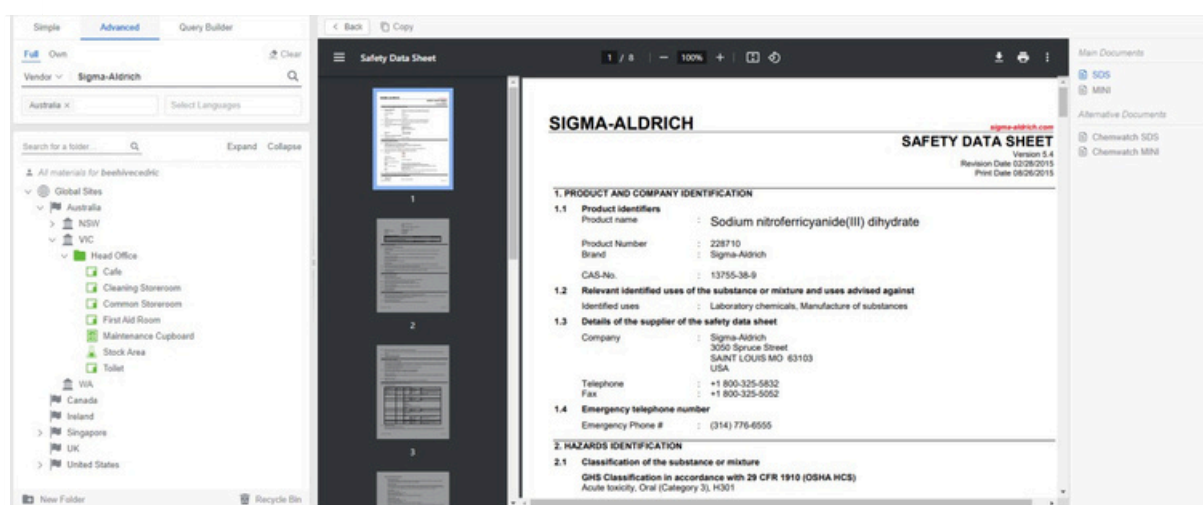
7. 虫眼鏡  をクリックし、ベンダー検索を実行する。
8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、データの種別を更に選択する。
9. サイドパネルのチェックボックスを使用し、特定のベンダー名を選択する。
10. 検索結果を更に絞り込むために、特定の国にチェックを入れる。
11. 製品名をクリックし、ベンダーSDSを表示する。

上記の検索条件には、言語の指定が含まれていないことにご注意ください。従って、あらゆる言語のベンダー文書が検索結果に表示されることとなります。より一致度が高い製品を見つけるには、サイドパネルで次のようなフィルタをご利用いただくことを推奨します：

- 国
- 言語
- ベンダー名（メーカーの子会社が存在する場合もあります）



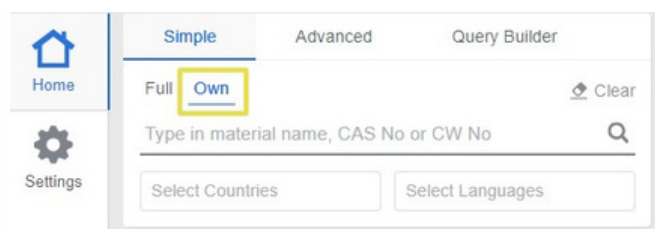
ベンダー文書画面



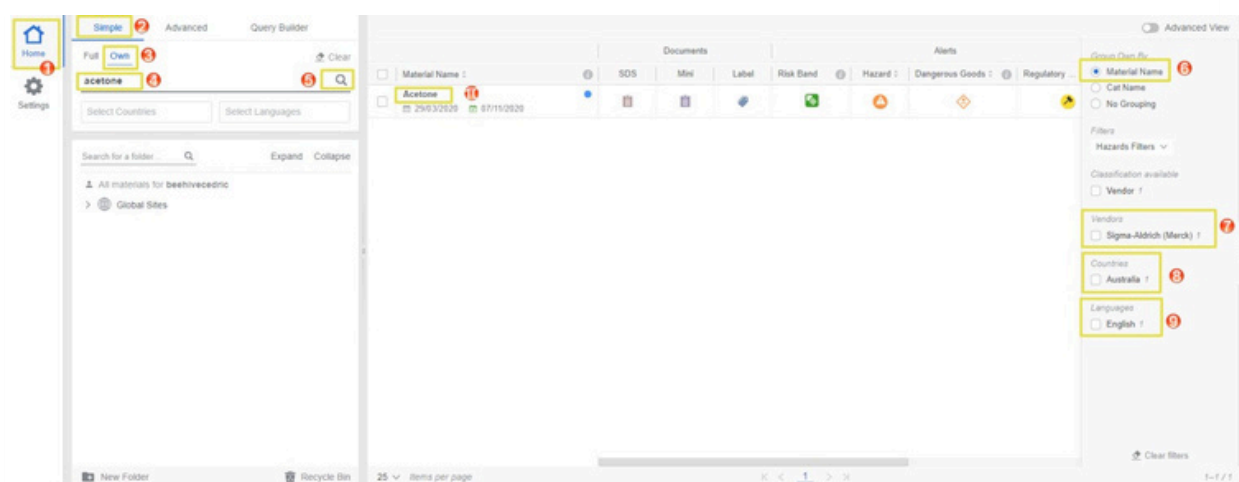
2.1.3 自己フォルダから検索する

簡易検索モードを使用して、ご自身のフォルダから製品のSDSを検索する手順は、以下のとおりです。

- ① 自己検索では、ケムウォッチのシステムに登録されている文書のうち、ご自身の企業や組織の登録化学品のみが検索対象となります。



手順：自己インベントリから製品を検索する



1. **ホーム**  モジュールを開く。
2. **簡易**タブをクリックする。
3. **自己**タブを選択し、検索対象を指定する。
4. 検索テキストボックスに**製品名**を入力する。
5. **オートコンプリート・リスト**から、**製品名**を選択する。
6. サイドパネルの**グループ化**セクションで、**文書名**を選択する。
7. **ベンダー**の**チェックボックス**を使用して、特定のベンダー名を選択する。
8. **国**の**チェックボックス**を使用して、特定の国を選択する。
9. **言語**の**チェックボックス**を使用して、特定の言語を選択する。
10. 検索結果から**製品名**を選択しクリックする。製品名の横に+が表示される場合には、展開してカタログ名（商品名）を表示させる。
11. 適切な製品名をクリックし、**ベンダーSDS**を表示させる。

サイドパネルには、検索したレコードの種類にもとづき、フィルタのオプションが表示されます。**グループ化**オプションをご利用いただくと、検索結果をお好みの方法でまとめることができます。

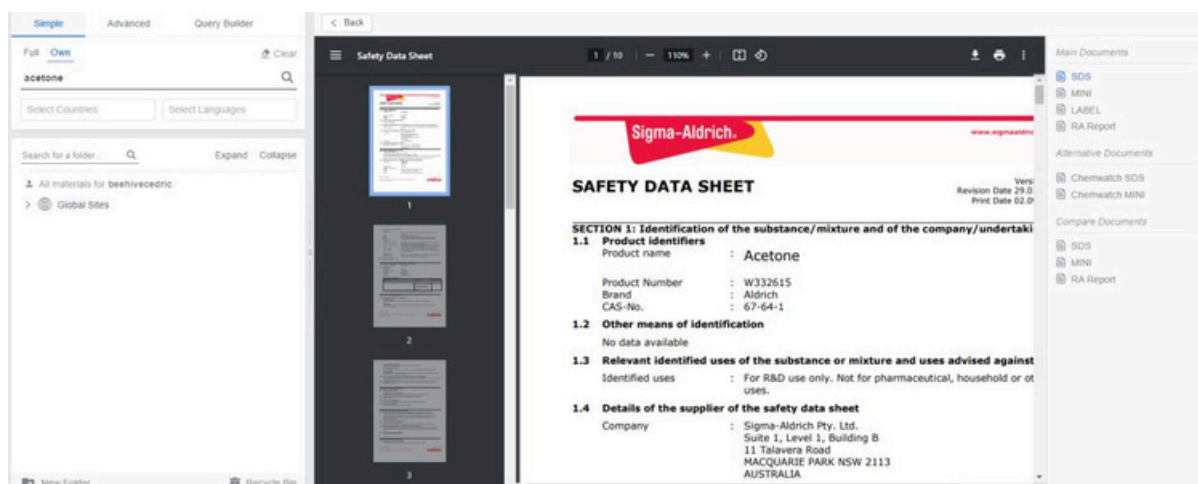
グループ化

- 文書名
- ケムウォッチ（CW）番号

サイドパネルのデフォルト・フィルタは、見つかったレコードにより異なります。下の例で適用されているフィルタ：

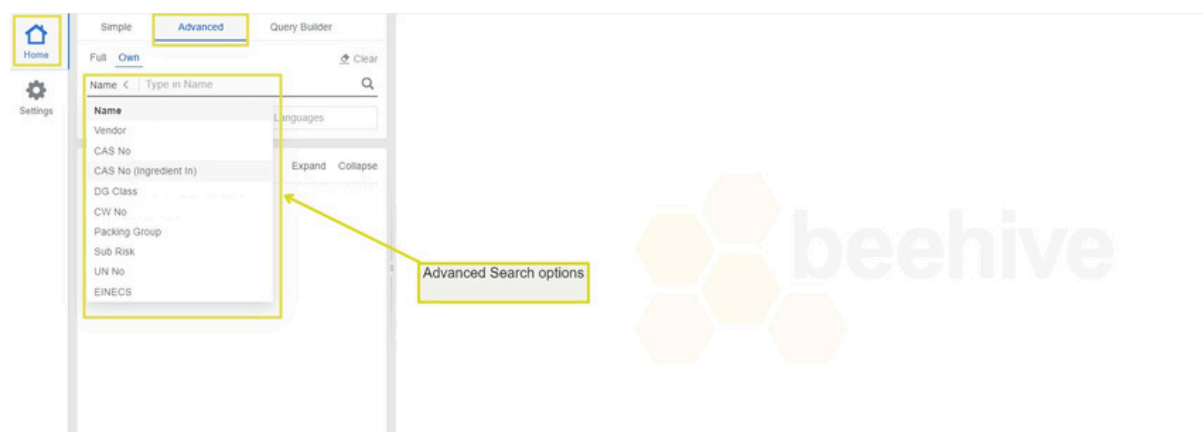
- ベンダー = Sigma-Aldrich
- 国 = オーストラリア
- 言語 = 英語

ベンダーSDSの表示画面



2.1.4 詳細検索オプション

ここでは、詳細検索のドロップダウン・メニューからご利用いただける、詳細検索オプションについてご説明いたします。製品の一般名、化学名、成分、別名、製品番号、優先名、CAS番号、CW番号、危険物クラス、容器等級、サブリスクおよび国連番号等を使用した検索が可能です。



- 名称で検索する
- ベンダー名で検索する
- CAS番号で検索する
- 成分のCAS番号で検索する
- 危険物クラスで検索する
- CW（ケムウォッチ）番号で検索する

含まれる
トピック

詳細検索の各条件の概要は、以下のとおりです。

検索オプション	説明	概要
名称	製品名	製品名で検索を実行し、ベンダーSDS、ミニSDS、ゴールドSDS、ラベルおよび緊急レポートを表示します。
CAS番号	ケミカルアブストラクト登録番号	CASレジストリに登録されている化学物質に付与される、ユニークな識別番号を使用して。検索を実行します。
CAS番号 (成分)	成分のCAS番号	製品に含まれる成分に付与されたCAS番号を使用して、検索を実行します。
ベンダー	ベンダー名を使用した検索	システムにベンダーSDS、ミニSDS、ゴールドSDS、ラベルもしくは緊急レポートが掲載されているベンダーの名称（英語名のみ）を使用して、検索を実行します。

検索オプション

説明

概要

危険物クラス

危険物等級

危険物の等級が1〜9まで表示されるので、そこから主な等級を選択します。

CW番号

ケムウォッチ番号

ケムウォッチ番号は、データベースに登録されている単一物質と混合物の両者全てに付与されています。

容器等級

危険物分類にもとづく容器等級

容器等級は、危険物とされる物質の危険性の等級です。

等級	危険性
I	高い危険性を有する
II	中程度の危険性を有する
III	低い危険性を有する

サブリスク

副次危険性

危険物分類にもとづく副次危険性

国連番号

国際連合危険物輸送勧告の番号

国際輸送において危険性を呈すると考えられる物質に付与された、4桁の識別番号です。

EINECS番号

欧州で主に使用されるEINECS番号

欧州既存商業化学物質リスト上の識別番号。これが付与されている物質は、REACH規則において、既存または段階的導入物質とみなされます。

製品番号（ユーザー／ベンダー）

ユーザーやベンダーが設定した製品番号

ベンダーが製品に付与した製品番号か、ユーザーが付与した製品番号。

優先名

優先名として登録した名称

商品に付与された、その他の名称

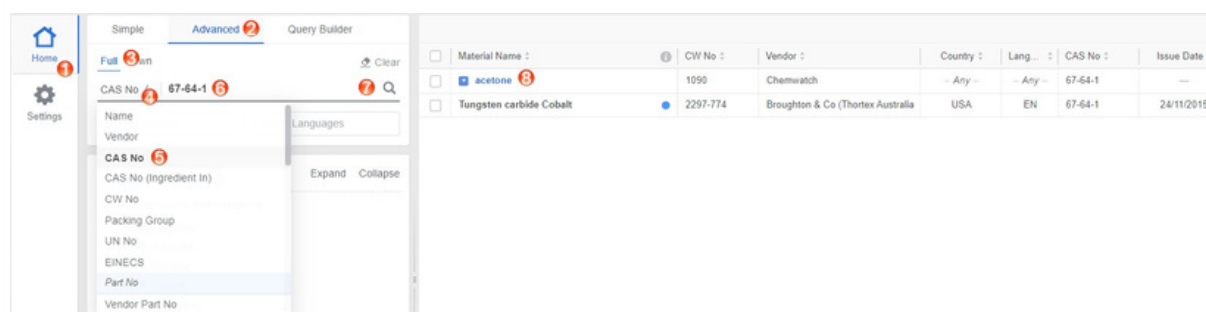
次に、詳細検索でCAS番号、CW番号、成分のCAS番号または危険物クラスを使用して、特定の製品のSDSを見つける方法をご紹介します。

2.1.4.1 CAS番号検索

詳細検索オプションのCAS番号を使用して、指定したCAS番号が付与された製品を検索する手順は、以下のとおりです。

- ❶ 全ての製品にCAS番号が付与されているわけではないことにご注意ください。混合物には、CAS番号が付与されていない場合があります。CAS番号は、物質固有の認識番号であり、名称に左右されない物質の特定を可能とします。ひとつの物質につき様々な呼称が存在する場合に、CAS番号により混乱が軽減されます。例えば、過酸化水素とジオキシダンは、実際には同じ化学物質であり、それは同様のCAS番号（7722-84-1）が付与されていることからご確認いただけます。

手順：CAS番号を使用して、製品を検索する

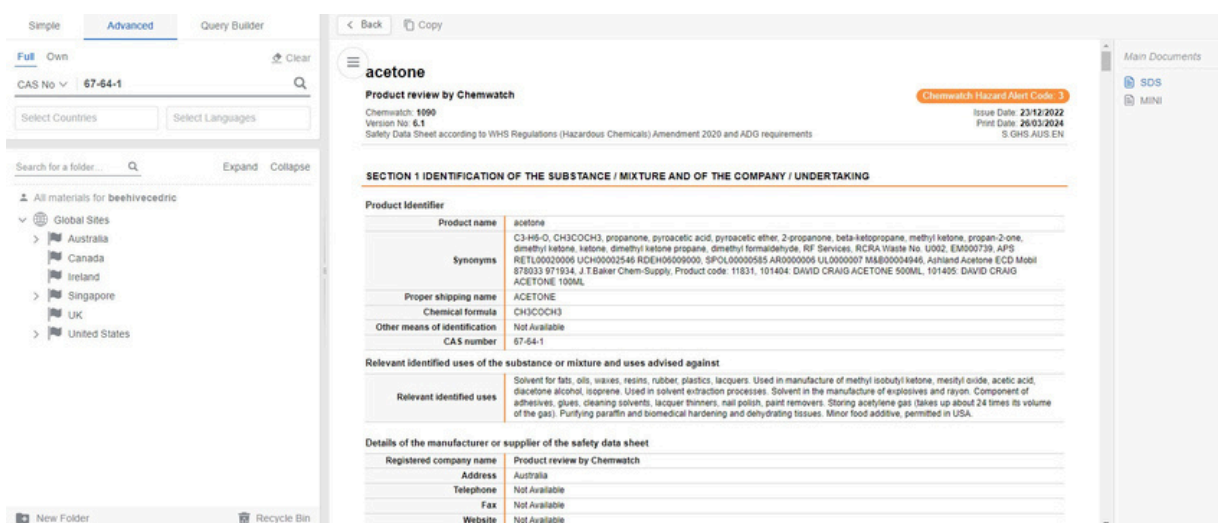


1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称の横のドロップダウンメニューを開く。
5. メニューからCAS番号を選択する。
6. CAS番号（例：67-64-1）を検索テキストボックスに入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。

8. 検索結果から製品名を選択する（ここでは例としてゴールドSDSを選択しています）。

サイドパネルに選択可能なベンダー、国および言語が表示されたことをご確認ください。

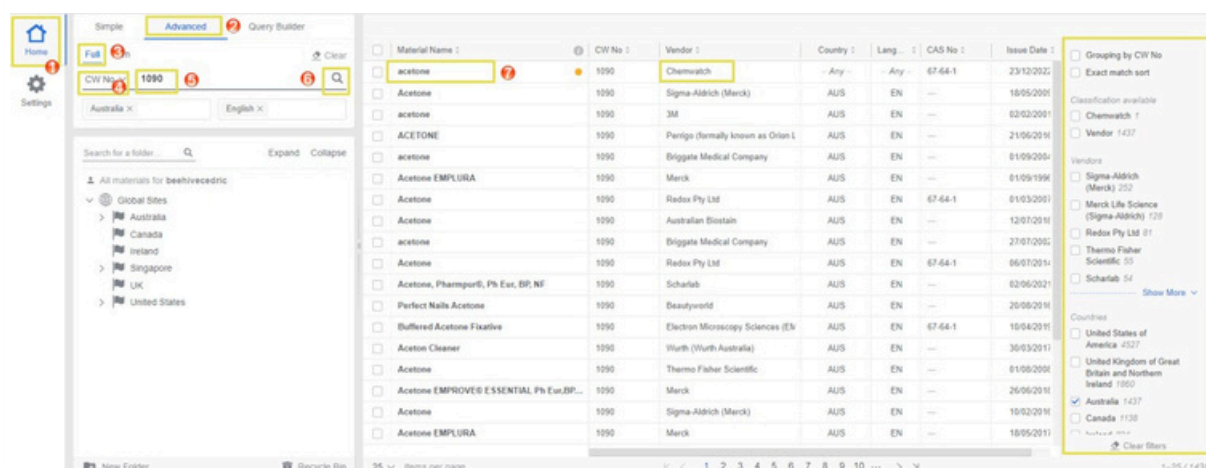
ゴールドSDS画面



2.1.4.2 ケムウォッチ番号（CW番号）検索

詳細検索オプションのCW番号を使用して、指定したCW番号が付与された製品を検索する手順は、以下のとおりです。ケムウォッチ番号は、ケムウォッチのデータベースに登録されている化学品に付与される、ユニークな識別番号です。化学品の情報を探したり、SDSやCAS番号を見つける際に有用となります。

手順：CW（ケムウォッチ）番号を使用して、製品を検索する

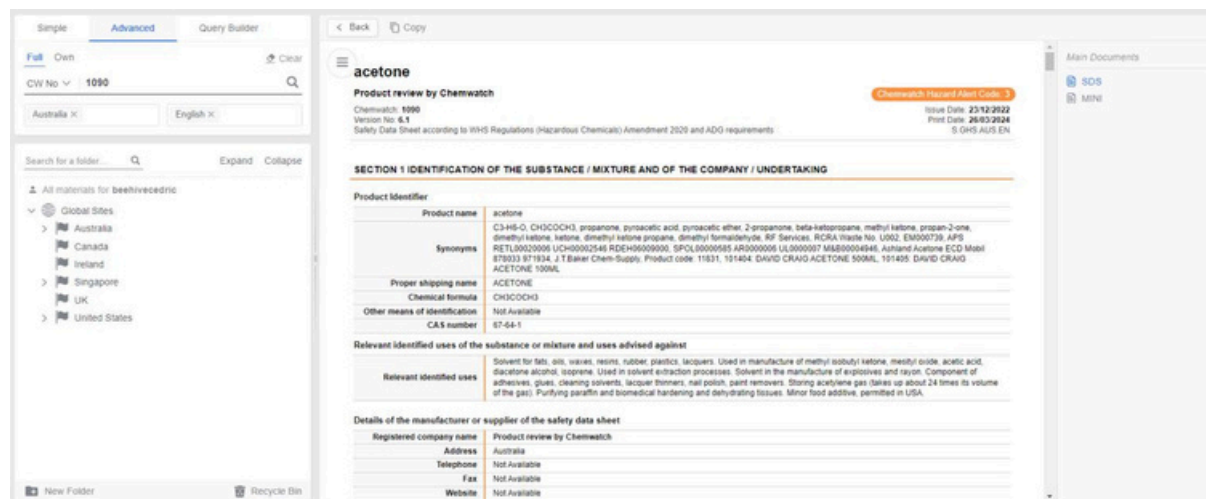


1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称の横のドロップダウンメニューを開く。

5. メニューからCW番号を選択する。
6. ケムウォッチ番号（例：1090）を検索テキストボックスに入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。

サイドパネルのフィルタを適用すると、検索結果が再度読み込まれ、フィルタの条件に合った製品のみが検索結果に表示されます。

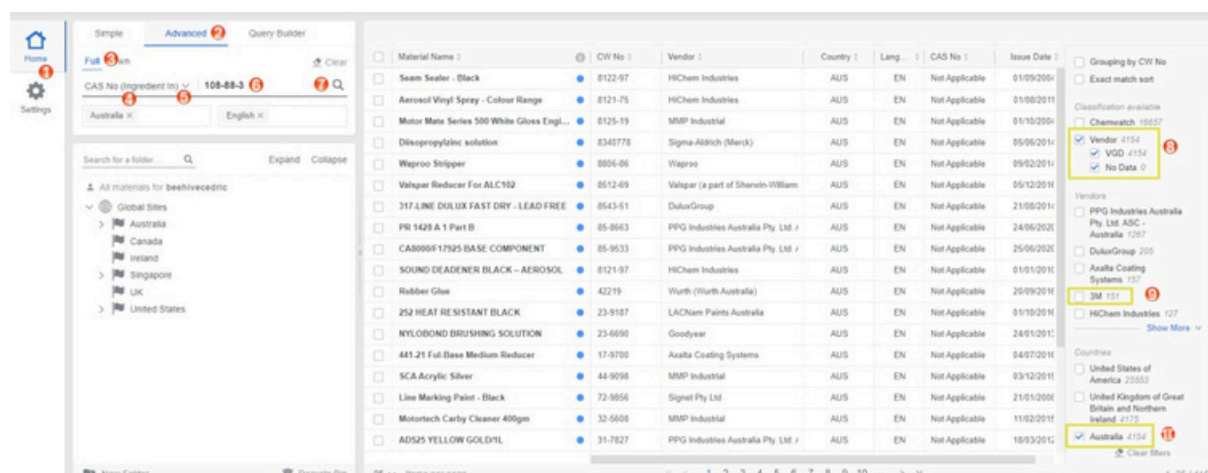
SDS画面



2.1.4.3 CAS番号（成分）による検索

詳細検索オプションのCAS番号（成分）を使用して製品を検索する手順は、以下のとおりです。

手順：成分のCAS番号を使用して、製品を検索する



1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 名称の横のドロップダウンメニューを開く。
5. メニューからCAS番号（成分）を選択する。
6. CAS番号（例：108-88-3）を検索テキストボックスに入力する。
7. 虫眼鏡 をクリックし、検索を実行する。
8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、データの種類を選択する。

9. サイドパネルのチェックボックスを使用し、特定のベンダー名を選択する。
10. サイドパネルの国と言語のチェックボックスを使用して、国と言語を指定する。
11. 製品名をクリックして、SDSを表示させる。

サイドパネルのフィルタを適用すると、検索結果が再度読み込まれ、フィルタの条件に合った製品のみが検索結果に表示されます。ここでは、以下のようなフィルタを例として適用しています：

- ベンダー＝3M
- 国＝オーストラリア
- 言語＝英語

☐	Material Name :	CW No :	Vendor :	Country :	Lang...	CAS No :	Issue Date :	☐ Grouping by CW No
☐	3M™ HI-Tack Spray Adhesive 76	70168	3M	AUS	EN	Not Applicable	18/04/2021	☐ Exact match sort
☐	3M™ Edge Sealer 3950	5216-31	3M	AUS	EN	Not Applicable	21/09/2021	Classification available
☐	3M™ Super 77 Classic Spray Adhesive	39692	3M	AUS	EN	Not Applicable	13/10/2021	☐ Chemwatch 0
☐	3M™ Edge Sealer 3950	5216-31	3M	AUS	EN	Not Applicable	18/11/2016	☒ Vendor 151
☐	3M Scotchkote Electrical Coating	7089-88	3M	AUS	EN	Not Applicable	18/11/2016	☒ VGD 151
☐	3M Scotchkote Electrical Coating	7089-88	3M	AUS	EN	Not Applicable	28/02/2011	☒ No Data 0
☐	3M ADHESION PROMOTER 4298	5792384	3M	AUS	EN	Not Applicable	21/03/2022	Vendors
☐	3M™ Scotch-Weld™ Neoprene High Perf...	4523268	3M	AUS	EN	Not Applicable	18/11/2016	☐ PPG Industries Australia Pty. Ltd. ASC - Australia 1267
☐	3M™ Industrial Plastic Adhesive 4475	41-4616	3M	AUS	EN	Not Applicable	18/04/2021	☐ DuluxGroup 205
☐	3M(TM) Rubber & Vinyl 80 Spray Adhesive	3299692	3M	AUS	EN	Not Applicable	22/09/2021	☐ Axalta Coating Systems 157
☐	3M(TM) Rubber & Vinyl 80 Spray Adhesive	3299692	3M	AUS	EN	Not Applicable	30/03/2021	☒ 3M 151
☐	3M 8882 High Gel Reenterable Encapsul...	02-0275	3M	AUS	EN	Not Applicable	19/07/2016	☐ HiChem Industries 127
☐	3M CHASSIS BLACK	31-1591	3M	AUS	EN	Not Applicable	03/02/2010	 Show More ▾
☐	K&H RAPID DRY ENAMEL PAINT SILVE...	31-4868	3M	AUS	EN	Not Applicable	05/07/2010	Countries
☐	3M ACRYLIC CLEAR	22-7932	3M	AUS	EN	Not Applicable	29/01/2010	☐ United States of America 946
☐	3M ACRYLIC BUMPER BLACK (AEROSOL)	22-7931	3M	AUS	EN	Not Applicable	29/01/2010	☐ United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland 271
☐	3M ACRYLIC MIDNIGHT BLUE	22-7938	3M	AUS	EN	Not Applicable	03/02/2010	☒ Australia 151
☐	255g Bodytech All Purpose Spray Enamel	6584-51	3M	AUS	EN	Not Applicable	01/06/2006	Clear filters

ベンダーSDS画面

Simple Advanced Query Builder

Full Open

CAS No (Ingredient In) 108-88-3

Australia x English x

Search for a folder

Expand Collapse

All materials for beehivecedric

Global Sites

- Australia
- Canada
- Ireland
- Singapore
- UK
- United States

New Folder Recycle Bin

Back Copy

60893d7d-5d61-486f-9c6-5d6513786da 3 / 18 110%

does not apply as this product is sold in sealed, self-pressurized containers with nozzles designed to prevent formation of a stream during usage. May displace oxygen and cause rapid suffocation.

2.4. Other hazards which do not result in classification
Causes mild skin irritation. Causes eye irritation. Toxic to aquatic life.

SECTION 3: Composition/information on ingredients

This material is a mixture.

Ingredient	CAS Nbr	% by Weight
Dimethyl ether	115-10-6	35 - 45
Methyl acetate	76-20-9	20 - 30
Bicyclo[1.1.1]hept-2-ene-2,6,6-trimethyl-Polymer With 6,6-Dimethyl-2-Methylbicyclo[3.1.1]heptane	31393-98-3	< 15
Cyclohexane	110-82-7	7 - 13
Non-hazardous components	Trade Secret	1 - 10
1,1-Difluoroethane	75-37-6	1 - 5
Hydrocarbon copolymer	Trade Secret	< 5
Hydrocarbon resin	Trade Secret	< 5
Light Petroleum Distillates	64742-47-8	0.5 - 1.5
Petroleum naphtha	64742-48-9	0.5 - 1.5
Toluene	108-88-3	< 1

SECTION 4: First aid measures

4.1. Description of first aid measures

Inhalation
Remove person to fresh air. Get medical attention.

Skin contact
Wash with soap and water. If signs/symptoms develop, get medical attention.

Eye contact
Wash with water for at least 15 minutes. Get medical attention.

Main Documents

- SDS
- MSDS
- Alternative Documents
- Chemwatch SDS
- Chemwatch MSDS

2.1.4.4 危険物クラスによる検索

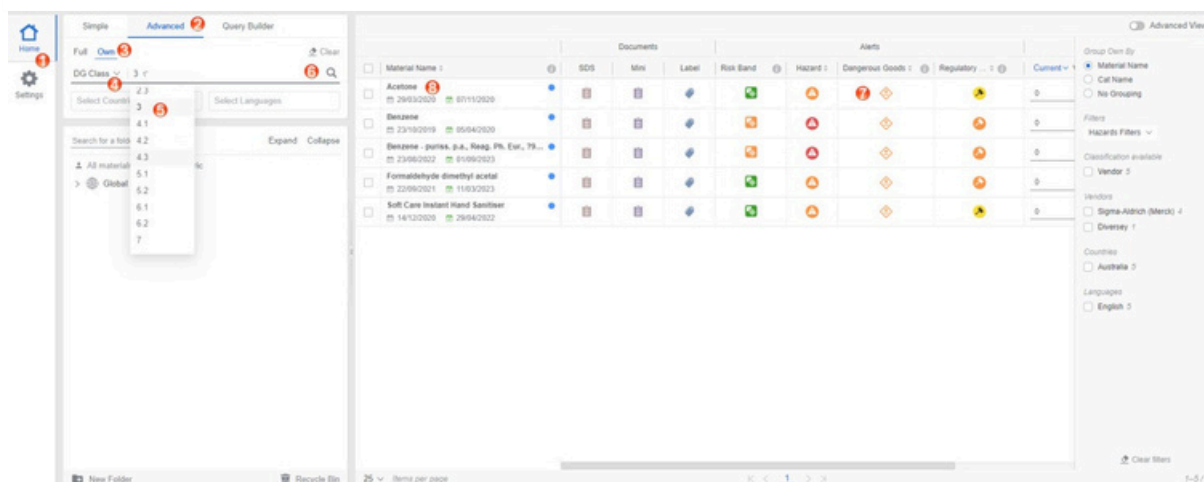
危険物とは、輸送時に健康、安全、施設または環境に対するリスクを有する物質（混合物、製剤および成形品を含む）です。輸送時以外にもリスクを呈する危険物は、危険有害性物質と呼ばれます。

危険物は、リスクをもたらす化学的特性にもとづき、9つのクラスに分類されます。この1～9までの等級とそれらの簡単な説明については、下の表をご確認ください。

クラス1	火薬類	区分1.1: 大量爆発の危険性を有する物質および火工品。
		区分1.2: 大量爆発の危険性はないが、飛散の危険性がある物質および火工品。
		区分1.3: 大量爆発の危険性はないが、火災の危険性があり、かつ弱い爆風および／もしくは弱い飛散の危険性がある物質および火工品。
		区分1.4: 高い危険性が認められない物質および火工品。
		区分1.5: 大量爆発の危険性があるが、非常に鈍感な物質。
		区分1.6: 大量爆発の危険性がなく、かつ極めて鈍感な火工品。‘
クラス2	高圧ガス	区分2.1: 引火性ガス。
		区分2.2: 非引火性非毒性ガス。
		区分2.3: 毒性ガス。
クラス3	引火性液体類	この危険物クラスには、区分はありません。このクラスの液体の蒸気は、着火源との接触により空気中で発火することがあります（例：ガソリン、灯油）。
クラス4	可燃性物質類； 自然発火性物質；水と反応して可燃性ガスを発生する物質	区分4.1: 可燃性固体、自己反応性物質および鈍性化爆発物。
		区分4.2: 自然発火性を有する物質。
		区分4.3: 水と接触した際に引火性ガスを発生する物質。
クラス5	酸化性物質類	区分5.1: 酸化性を有する物質。
		区分5.2: 有機過酸化物。
クラス6	毒物および感染性物質	区分6.1: 毒性を有する物質。
		区分6.2: 伝染性病原体等。
クラス7	放射性物質	この危険物クラスには、区分はありません。有害な放射線を放出する物質または混合物（例：ウラン、ラジウム）。
クラス8	腐食性物質	この危険物クラスには、区分はありません。生体組織に損傷を与え、他の物質と反応する可能性がある固体または液体（例：塩酸、苛性ソーダ）。
クラス9	その他の危険物	この危険物クラスには、区分はありません。危険性を有するが他のクラスに含まれない物質および成形品（例：ドライアイス、アスベスト）。

詳細検索を使用して、危険物クラスにより製品を検索する方法は、以下のとおりです。

手順：危険物クラスで製品を検索する

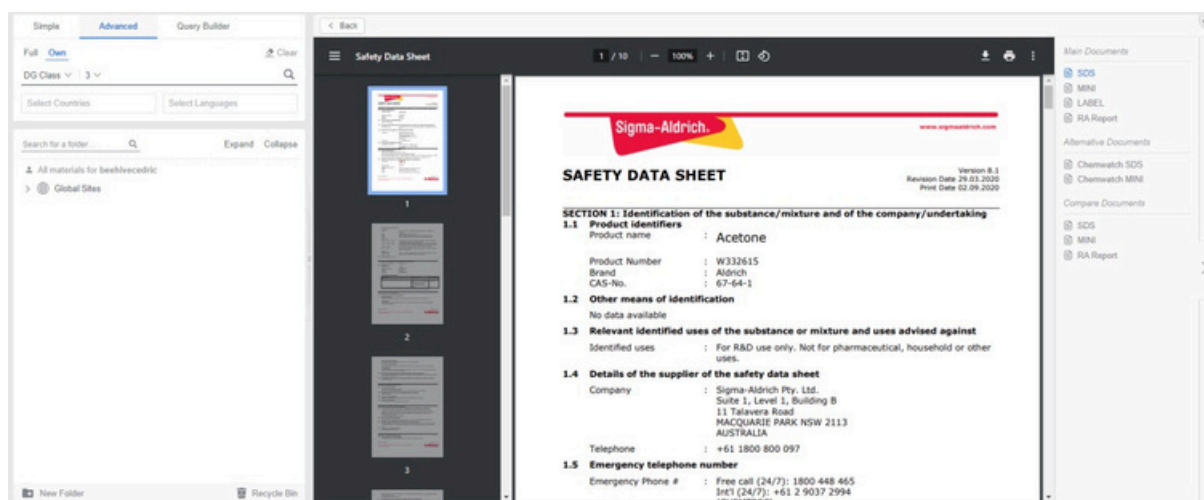


1. ホーム モジュールを開く。
2. 詳細タブをクリックする。
3. 自己を選択し、検索対象をご自身の管理化学品とする。
4. 名称の横のドロップダウンメニューを開く。
5. メニューから**危険物クラス**を選択し、危険物クラスの数字（例：引火性液体の場合は3）をクリックする。
6. 虫眼鏡をクリックし、検索を実行する。

7. 検索結果のリストにある製品の横に、引火性液体等の**危険物のシンボルマーク**が表示されることをご確認ください。
8. **製品名**をクリックして、SDSを表示させる。

サイドパネルのフィルタを適用して、ベンダー等を指定し、検索結果を更に絞り込むことも可能です。

ベンダーSDS画面



2.2 フォルダツリーを作成する

この章では、以下のアクティビティについて解説しています：

- フォルダの種類とプロパティ
- エリア用のフォルダを作成する
- 保管用のフォルダを作成する
- 新規フォルダを追加する
- フォルダを編集する



フォルダ構造を作成する主な目的は、企業や組織にある作業場と化学品の保管場所を反映した、デジタル化された「カスタムライブラリ」を作成することです。このカスタムライブラリは、化学品が実際に使用／保管されているエリア、区域および場所を表すフォルダに、製品やSDSが格納されている、化学品のインベントリとなります。このフォルダツリーは、グローバルな規模で作成していただいても、ローカルな規模で作成していただいても構いません。

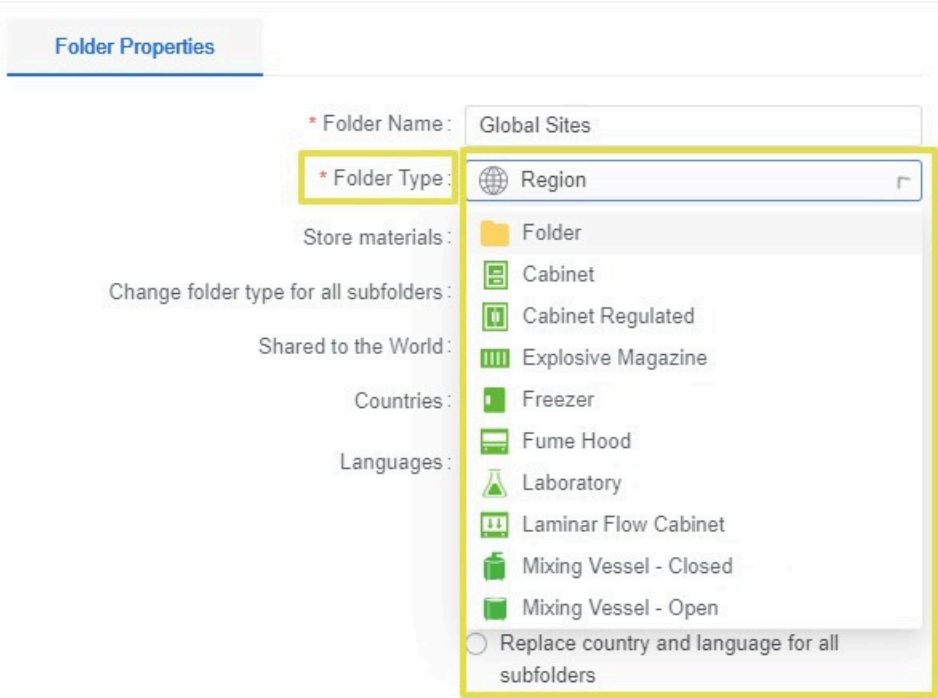
グローバルフォルダ	ローカルフォルダ
・ 地域  ・ 国  ・ 県  ・ 作業場 	・ エリア  ・ 区域／ビル  ・ 部屋／場所  ・ 保管庫 

次のセクションでは、フォルダツリーを作成する方法について、詳細情報を掲載しています。

2.2.1 フォルダの種類とプロパティ

階層構造のフォルダ管理では、例えば、複数の地域や国にまたがる世界的企業のフォルダを管理する場合など、大規模な階層構造を管理する場合は特に、フォルダ間の移動のしやすさやアクセスの簡便さを高めるために、効果的な整理方法を考えることが重要です。フォルダ管理の主な目的は、フォルダのプロパティやその他のオプションを活用して、フォルダを論理的に整理し、文書を簡単に見つけ出せるようにすることです。子フォルダを作り過ぎて複雑になることも、避けなければなりません。

フォルダの種類、アイコンおよびご利用目的の概要については、下の表をご確認ください。



アイコン	フォルダの種類	ご利用目的
	フォルダ	一般フォルダ
	アドミンフォルダ	アドミンフォルダ
	緑色のフォルダ	保管用フォルダ
	灰色のフォルダ	アドミンフォルダ
	赤色のフォルダ	廃棄用フォルダ
	リサイクルフォルダ	削除された製品やフォルダ用のアーカイブ用フォルダ

フォルダのアクセス権

フォルダのアクセス権とは、システム内の特定のフォルダでユーザーやグループが実行できるアクションを決定する、アクセス権と属性に基づく一連のルールを意味します。この権限により、表示、編集、作成、削除、移動、さらにはアクセスの拒否やフォルダの非表示設定などの、様々なアクションの可否が決定します。

ユーザーには、次の4種類のアクセス権のいずれかを割り当てることができます：

- 拒否
- 設定なし
- 読み取り
- 読み取り／書き込み

ユーザーがフォルダ内の資料を表示／編集するために必要なアクセス権とその概要は、以下のとおりです。

権限	概要	表示画面の状態	フォルダの見え方
拒否 	フォルダがユーザーのアカウントには表示されません。	この権限が割り当てられたフォルダは、非表示となります。	 非表示
設定なし 	フォルダがユーザーのアカウントには表示されません。	この権限が割り当てられたフォルダは、非表示となります。	 非表示
読み取り 	フォルダ／フォルダ内の資料にアクセスはできますが、フォルダ／製品の追加、複製、移動および削除はできません。	ユーザーはフォルダの中身を閲覧することはできますが、編集することはできません。	 閲覧
読み取り／書き込み 	フォルダ／フォルダ内の資料の複製、移動および削除が可能であり、製品の量の編集も可能です。	ユーザーはフォルダの中身を閲覧することができ、（フォルダ、製品および量の）編集も可能です。	 閲覧／編集

フォルダの種類

使用目的ごとに、異なる種類のフォルダを作成することが可能です。

- 一般フォルダ
- アドミンフォルダ
- 保管用フォルダ
- 空またはリサイクル用フォルダ

フォルダの アイコン	色	種類	使用目的
	オレンジ	一般フォルダ	一般的なフォルダ。
	青	アドミン フォルダ	この種のフォルダには、製品を保存することができます。編集権限を持つユーザーは、これらのフォルダに文書等を保存でき、保存が完了すると、フォルダの色が緑色に変わります。
	緑	保管用フォルダ	この種のフォルダには、製品を保存することができます。編集権限を持つユーザーは、これらのフォルダに文書等を保存できます。
	グレー	空	空のフォルダは、ツリー上のどこに配置しても、灰色で表示されます。フォルダから全ての製品を削除して空になると、フォルダの色が灰色になります。
	グレー	リサイクル用	削除されたフォルダまたは文書のアーカイブ版です。ここから削除されたアイテムにアクセスし、復元することができます。

2.2.2 エリア用のフォルダを作成する

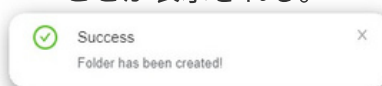
エリア用のフォルダなどの、地域を指定するフォルダの作り方は、以下のとおりです。

手順：地域指定用フォルダの作り方

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダパネルの左下に位置する「新しいフォルダ」ボタンをクリックして、フォルダを作成する（例：エリアフォルダ）
3. フォルダの名称（例：東京エリア）を入力する。
4. フォルダの種類を一覧表示するには、「フォルダタイプ」の右隣のドロップダウンリストをクリックする。
5. リストをスクロールして地域などのフォルダタイプを選択する。
6. 「製品を保管する」というチェックボックスはデフォルトでチェックが入っています。もし製品を保管したくないのであれば、チェックを外してください。

オプション - フォルダに適用するSDSの国を選択する。
オプション - フォルダに適用するSDSの言語を選択する。

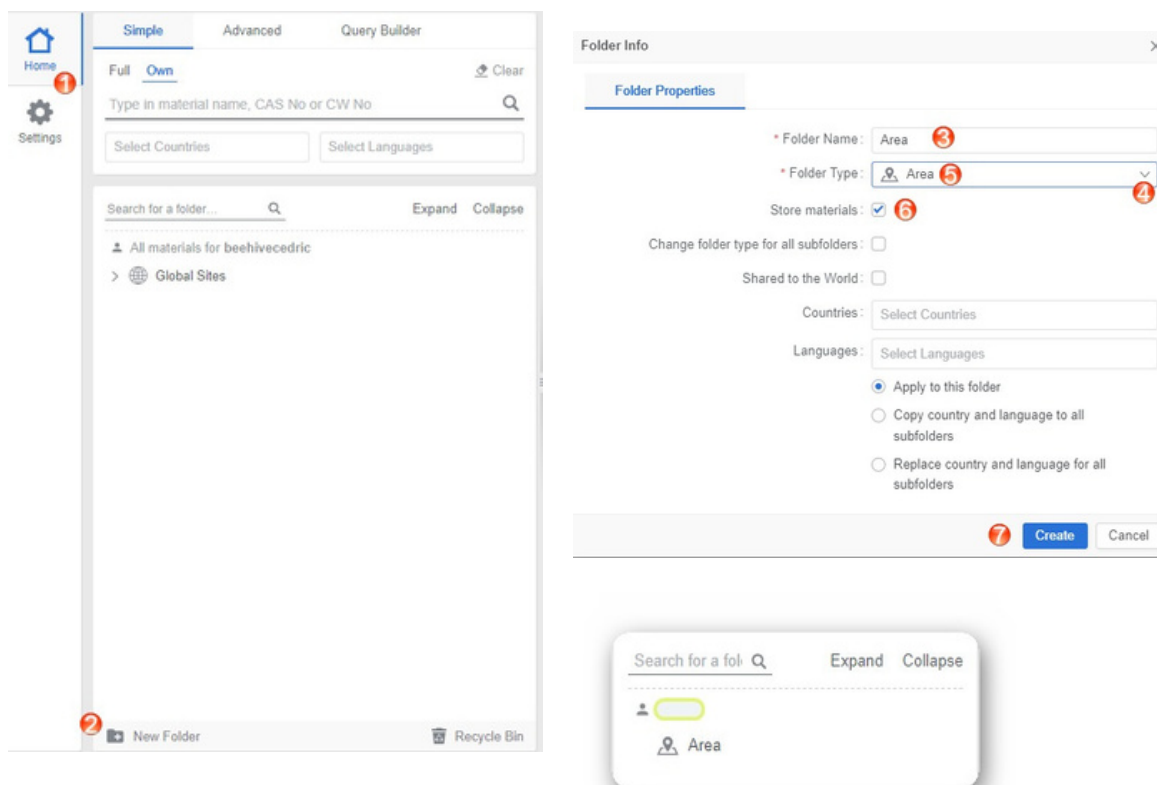
7. 作成ボタンをクリックする。
新しくフォルダが作成されたことが表示される。



その他のフォルダプロパティには以下のものが含まれます。

- ・ このフォルダに適用する
- ・ 国と言語を全サブフォルダにコピーする
- ・ 全サブフォルダの国と言語を置換する

ラジオボタンを使用して、サブフォルダに適用する変更事項を指定します。



❗ フォルダを作成する編集権限が付与されていない場合には、会社または組織内のシステム管理者に相談し、各フォルダに関する権限（読み取り／書き込み）を付与していただください。

2.2.2.1 サブフォルダの作成

ここでは、エリアフォルダのサブフォルダとしてセクション（例: 建物）を作成する方法をご紹介します。

権限	フォルダタイプ	概要	フォルダツリー群
読み取り／ 書き込み 		フォルダ管理権限を付与されているユーザーは、ツリーの中にフォルダ群を作成することができます。	 閲覧と編集

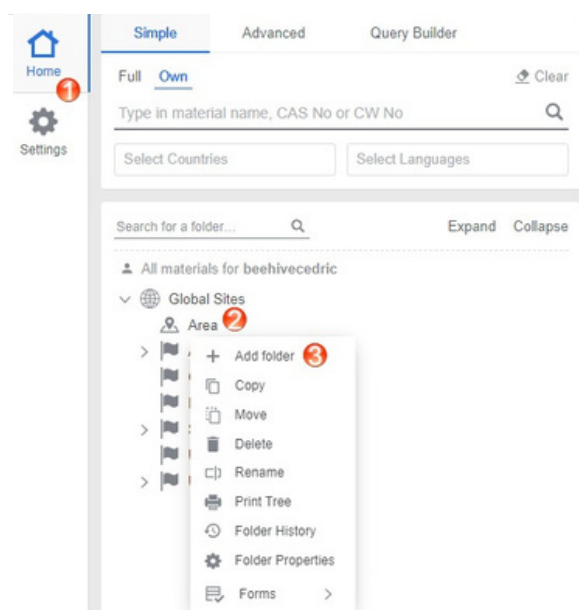
サブフォルダを追加する前に、以下のフォルダレベルを考慮してください。

アイコン	フォルダタイプ	概要	フォルダツリー群
	エリア	エリアは親フォルダとなります。	 レベル1
	セクション	この階層はエリアに属する子フォルダとなります。この階層で建物を指定するのも良いでしょう。	 レベル2

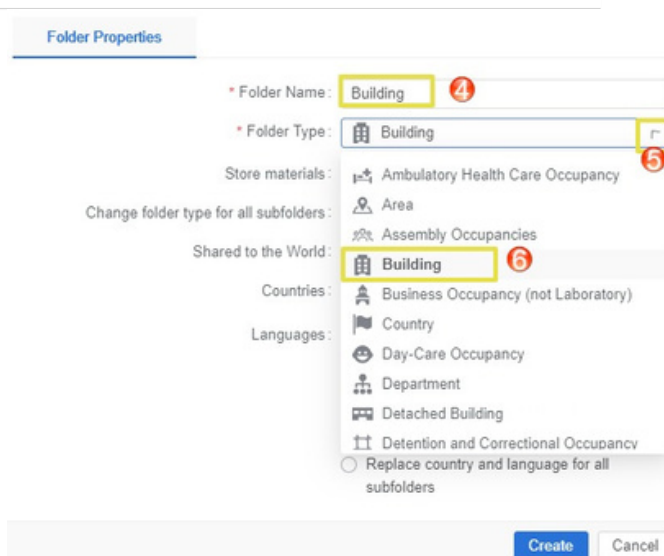
サブフォルダを作成する手順は、以下のとおりです。

手順:

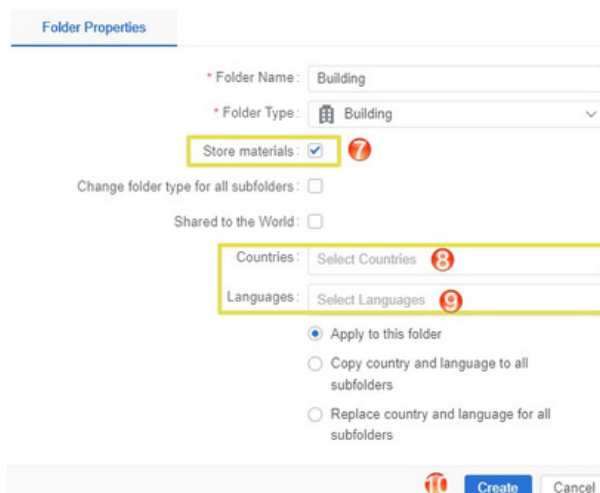
1. ホームモジュールを開く。
2. 地域フォルダを右クリックする。
3. メニューからフォルダの追加オプションを選択する。



4. フォルダの名称を入力する（例：ABCビル）。
5. フォルダの種類の右隣のドロップダウンリストからフォルダの種類を選択する。
6. リストをスクロールして、ABCビルなどの適切なフォルダタイプを選択する。
7. 「製品を保管する」というチェックボックスはデフォルトでチェックが入っています。もし製品を保管したくないのであれば、チェックを外してください。



8. フォルダに適用するSDSの国を選択する。
9. フォルダに適用するSDSの言語を選択する。
10. 作成ボタンをクリックする。

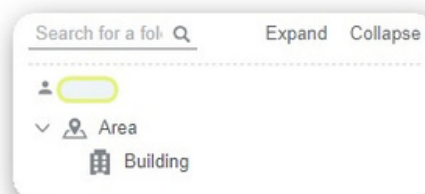
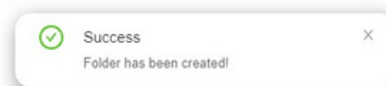


その他のフォルダプロパティ:

- このフォルダに適用する
- 国と言語を全サブフォルダにコピーする
- 全サブフォルダの国と言語を置換する

ラジオボタンを使用して、サブフォルダに適用する変更事項を指定します。 

新しいフォルダが作成されたというメッセージが表示されます。



2.2.2.1.1 保管用のフォルダを作成する

フォルダ構造自体や特定のフォルダへの読み取り／書き込み権限を付与されたユーザーは、フォルダを作成／編集したり、既存のフォルダにサブフォルダを追加することができます。

権限	概要	フォルダツリー群
読み取り／ 書き込み 	フォルダの編集権限が付与されているユーザーは、ツリー内にフォルダ群を作成することができます。	 表示と編集

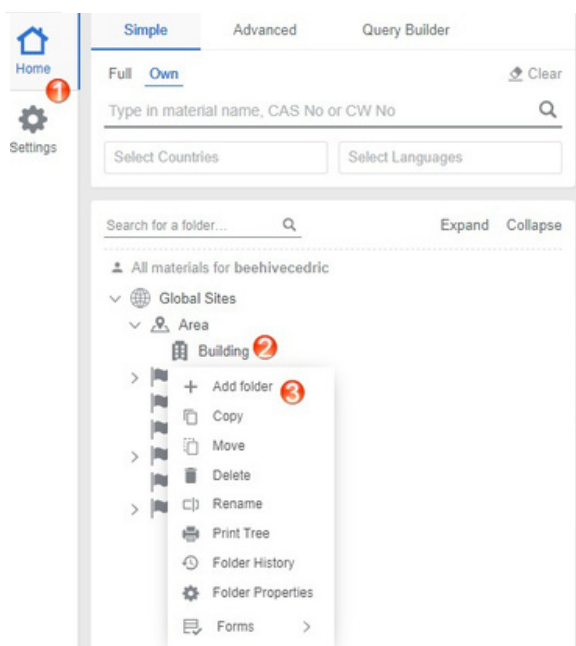
サブフォルダを追加する前に、以下のフォルダレベルを考慮してください。数階層のサブフォルダを作成することが可能です。

アイコン	フォルダタイプ	概要	フォルダツリー群
	エリア	エリアは親フォルダとなります。	 レベル 1
	セクション	この階層は、エリアに属する子フォルダとなります。この階層で建物を指定するのも良いでしょう。	 レベル 2
	保管場所	この階層は、セクション（建物など）に属する保管場所（子）フォルダとなります。この階層で化学品の保管場所を指定するのも良いでしょう。	 レベル 3

ここでは、保管場所を指定するフォルダを、セクションに属するサブフォルダとして、三番目の階層に作成する方法をご紹介します。

手順：ビルを示すフォルダに属するサブフォルダを作成する

1. ホームモジュールを開く。
2. ビルを表すフォルダを右クリックする。
3. メニューから「フォルダの追加」を選択する。



4. フォルダの名称を入力する（例：保管庫）。
5. フォルダタイプドロップダウンメニューを開く。
6. メニューから保管用フォルダ（緑色）を選択する。
7. 製品の保管が可能なフォルダには、「製品を保管する」チェックボックスに自動でチェックが入ります。この階層に製品を保管したくない場合には、チェックを外してください。
8. フォルダに適用するSDSの国を選択する。
9. フォルダに適用するSDSの言語を選択する。

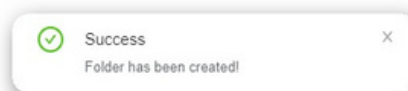
10. 作成ボタンをクリックする。

その他のフォルダプロパティには以下のものが含まれます。

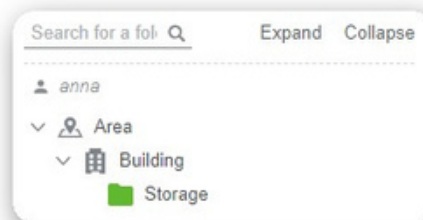
- このフォルダに適用する
- 国と言語を全サブフォルダにコピーする
- 全サブフォルダの国と言語を置換する

ラジオボタンを使用して、サブフォルダに適用する変更事項を指定します。

新しいフォルダが作成されたというメッセージが表示されます。



フォルダパネルで作成されたフォルダをご確認ください。



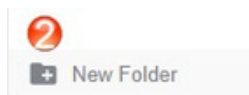
2.2.3 新規フォルダを追加する

新規フォルダ	タスクの概要	アクション
作成 	親フォルダとして新しいフォルダを作成（追加）することができます。作成された時点では、すべてのフォルダは空となります。 	 新フォルダの追加

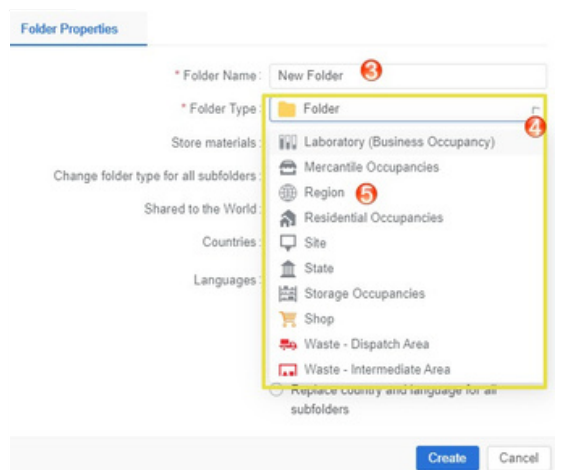
新しいフォルダを作成する方法は、以下のとおりです。この新しいフォルダに、グローバルまたは地域的なフォルダプロパティが割り当てます。

手順：

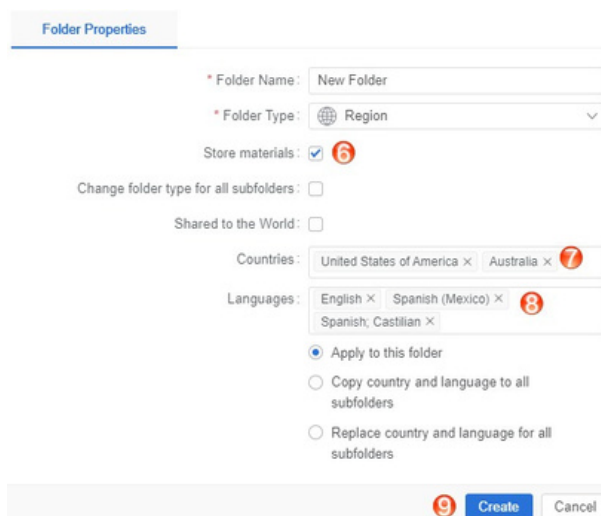
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダパネル左下の「新しいフォルダ」ボタンをクリックする。



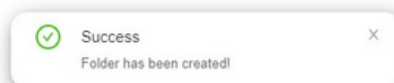
3. フォルダの名称を入力する。
4. フォルダタイプドロップダウンメニューを開く。
5. リストをスクロールしてフォルダの種類を選択する。



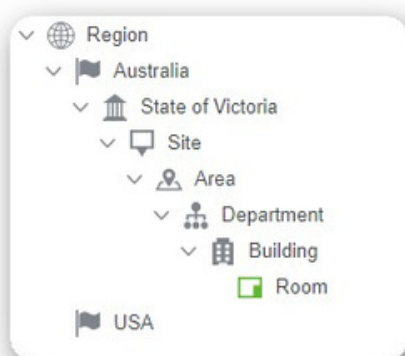
6. このフォルダに製品を保管しない場合には、「製品を保管する」チェックボックスのチェックを外します。
7. フォルダに適用するSDSの国を選択する。
8. フォルダに適用するSDSの言語を選択する。
9. 作成ボタンをクリックする。



画面の右上隅に、フォルダが新しく作成された旨を確認するメッセージが表示されます。



エリアフォルダとして新しく作成された親フォルダには、次のように、複数のサブフォルダを付与することができます。こちらは、グローバルに事業を展開している企業／組織の例です。数多くの場所や部署が、複数の国や地方に存在する場合には、このように多数の階層を設けていただけます。



2.2.4 フォルダを編集する

この章では、以下の方法について解説しています：

- フォルダを別のフォルダに属するように移動する
- フォルダの名前を変更する
- フォルダを削除する
- 削除したフォルダを復元する
- フォルダのプロパティを編集する



フォルダの編集は、フォルダ管理作業の一環となる作業です。関連するフォルダの読み取り／書き込み権を有するユーザーのみ、編集作業を行うことができます。

フォルダの名称を変更する：

フォルダの名称を変更し、その内容や目的をより適切に反映していただけます。これにより、より効果的なファイルの整理や分類が可能となります。

フォルダを移動または再編成する：

フォルダをツリーの構造内で移動して、階層の配置換えを行ったり、組織の編成により適合されたツリーを作成していただけます。これにより、フォルダが論理的に分類され、それが容易なアクセス管理を促します。

フォルダの権限を変更する：

管理者または適切な権限を持つユーザーは、フォルダに割り当てられた権限を調整し、そのフォルダのコンテンツ（へ）のアクセス／変更／削除が可能なユーザーを指定することができます。

サブフォルダの追加または削除:

既存のフォルダ内に新しいサブフォルダを作成し、より細かなカテゴリ分けを行うことができます。逆に、不要なサブフォルダを削除し、フォルダの構造を簡素化したり、実際の作業場や保管場所の縮小に伴い、その変更点をデジタルライブラリに反映させることも可能です。

フォルダのプロパティをカスタマイズする:

フォルダを管理する権限が付与されているユーザーは、フォルダのさまざまなプロパティ（アイコンや色分けなど）をカスタマイズし、それらの識別や区別の簡素化を図ることが可能です。

フォルダアクセスの設定:

管理者は、フォルダアクセス（読み取り専用ステータスなど）を設定する権限を、特定のユーザーに付与することができます。

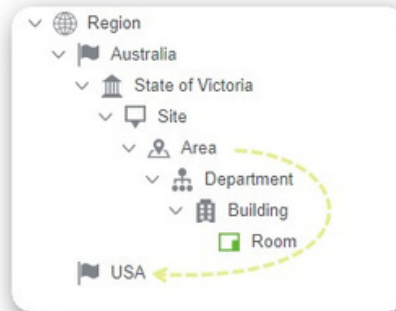
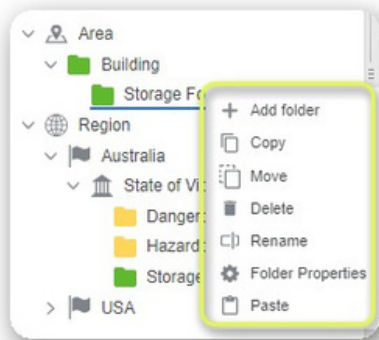
一般的に、整理された効率的なフォルダ管理システムを維持するためには、フォルダの編集が不可欠です。これにより、セキュリティとアクセス制御ポリシーに準拠しながら、文書に簡単にアクセスし、また共同作業を行うことができるようになります。フォルダを編集するには、フォルダの読み取り／書き込み権限が必要です。

権限	概要	フォルダ編集
読み取り／ 書き込み 	フォルダのコンテンツ（化学品のインベントリ）を表示し、それらに不随する情報（フォルダ、製品、体積／重量、製品番号、優先名など）を編集できます。	 表示と編集

フォルダ編集機能

フォルダ編集メニューは、右クリックより表示され、以下の編集オプションが含まれています。

右クリック編集オプション	ドラッグ・アンド・ドロップでフォルダを移動する
• フォルダの追加 • フォルダの削除 • フォルダの名前変更 • フォルダのプロパティの更新	• 元フォルダを選択し、移動先の親フォルダの元にドラッグする。



2.2.4.1 フォルダを別の場所に移動する

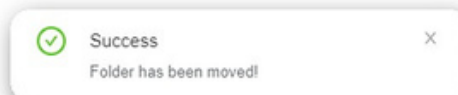
次の手順では、フォルダを別の場所に移動する方法を解説します。

手順：フォルダを別の場所に移動する

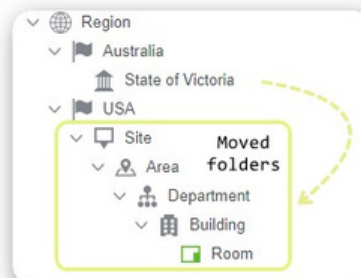
1. ホームモジュールを開く。🏠
2. 移動元のフォルダを移動先の親フォルダに、ドラッグ・アンド・ドロップする。



フォルダが移動したというメッセージが表示されます。



3. 移動先の親フォルダを開き、フォルダの移動が成功したことをご確認ください。

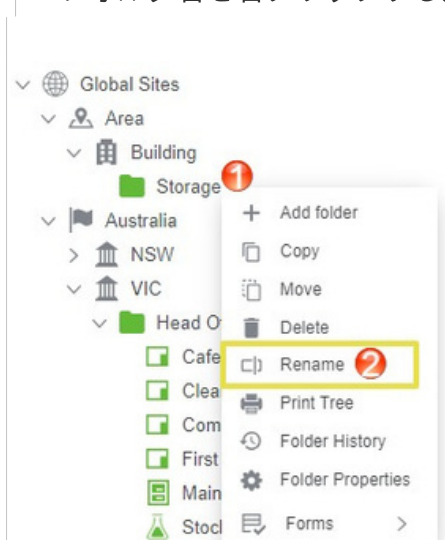


2.2.4.2 フォルダの名称を変更する

既存のフォルダの名称を変更する方法は、以下のとおりです。

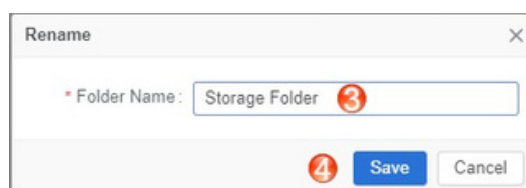
手順: フォルダの名称を変更する

1. フォルダ名を右クリックする。



2. メニューから「名称変更」を選択する。
3. 新しいフォルダ名を入力する。
4. 「保存」ボタンをクリックする。

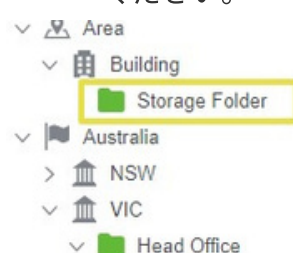
Save



フォルダの名称が変更されたことを確認するメッセージが表示されます。



5. 名前が変更されたことをご確認ください。



2.2.4.3 フォルダの削除

フォルダ編集

タスクの概要

フォルダアクション

削除

フォルダツリーからフォルダを削除することが可能です。削除されたフォルダは、ごみ箱に自動的に移動します。

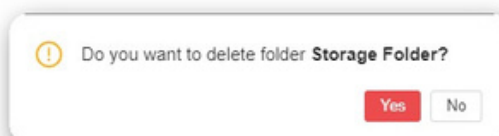


ごみ箱

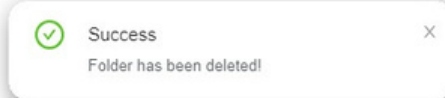
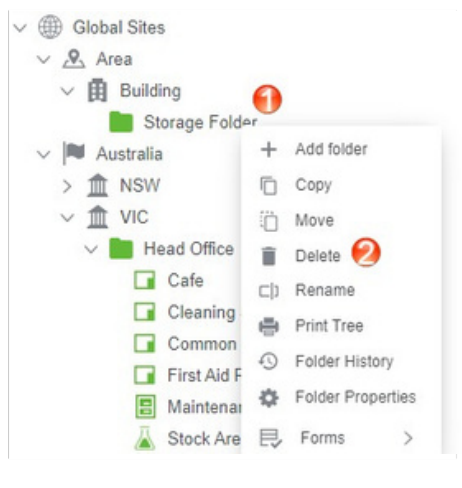
フォルダを削除する方法は以下のとおりです。

手順: フォルダを削除する方法

1. フォルダを右クリックする。
2. メニューから「削除」を選択する。
3. 「はい」ボタンをクリックする。



フォルダが削除されたことを確認するメッセージが表示されます。



- ごみ箱に移動した削除済みフォルダの日付とタイムスタンプを確認してみましょう。ごみ箱をクリックし、アーカイブ保存されたフォルダの情報をご確認ください。



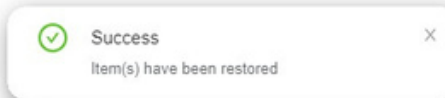
2.2.4.4 削除されたフォルダを復元する

削除されたフォルダを復元する方法は、以下のとおりです。

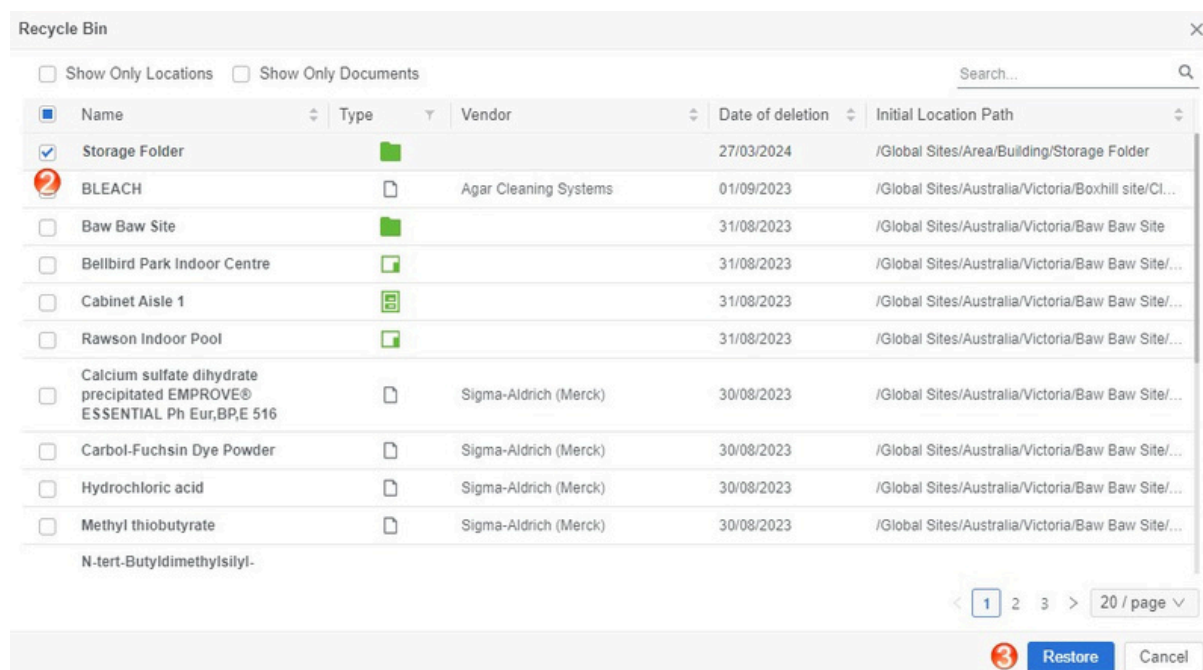
手順: 削除されたフォルダを復元する

- フォルダパネルの右下隅にある「ごみ箱」ボタンをクリックする。
- テーブル上で削除されたフォルダのチェックボックスをオンにする。
- 「復元」ボタンをクリックする。

フォルダの復元を確認するメッセージが表示されます。



- フォルダの元の場所に復元されたことをご確認ください。



2.2.5 フォルダに製品を追加する

この章では、以下のアクティビティについて解説しています：

- 製品を検索してフォルダに追加する
- 製品を検索してフォルダにコピーする



ケムウォッチのシステムに製品を登録（追加）する方法は、主に以下の4種類となります。

種類	依頼者の要件	ケムウォッチのプロセス	結果
在庫データ登録	マスター製品リスト、Sisotインベントリ製品リスト、リストはケムウォッチにメールで送信していただけます。	製品は登録段階を追って登録されます。	登録の進行状況は、ケムウォッチモジュールのPTN履歴とステータスでご確認いただけます。PTNのステータスが「完了」となったということは、PTNごとに分類された製品すべてが登録されたことを意味します。
リクエストモジュールからアップロード	システム内のリクエストモジュールからケムウォッチに送信していただきます。		
FTPアップロード	マスター製品リスト、Sisotインベントリ製品リスト、マニフェスト・リストを、ファイル転送プロトコル（FTP）を介してアップロードしていただきます。		
製品の追加	フォルダに製品をご自身で追加していただきます。	このプロセスは、ユーザーがSDSをフォルダに追加する、セルフ登録です。	読み取り／書き込み権限要。

フォルダに文書を追加するには、次のような役割が付与されていることをご確認ください。

- 管理スーパーバイザー
- スーパーバイザーの補佐

役割	権限	説明	権限の概要
 管理スーパーバイザー	フォルダの所有者（編集権限あり）	フォルダ管理	フォルダとフォルダのプロパティを作成および編集する権限（読み取り／書き込み権限）。 フォルダに製品／SDSを追加し、製品の体積／重量を編集する権限。
 補佐	フォルダへのアクセス可（編集権限あり）	フォルダイベントリ管理	フォルダに製品／SDSを追加し、製品の体積／重量を編集する権限。

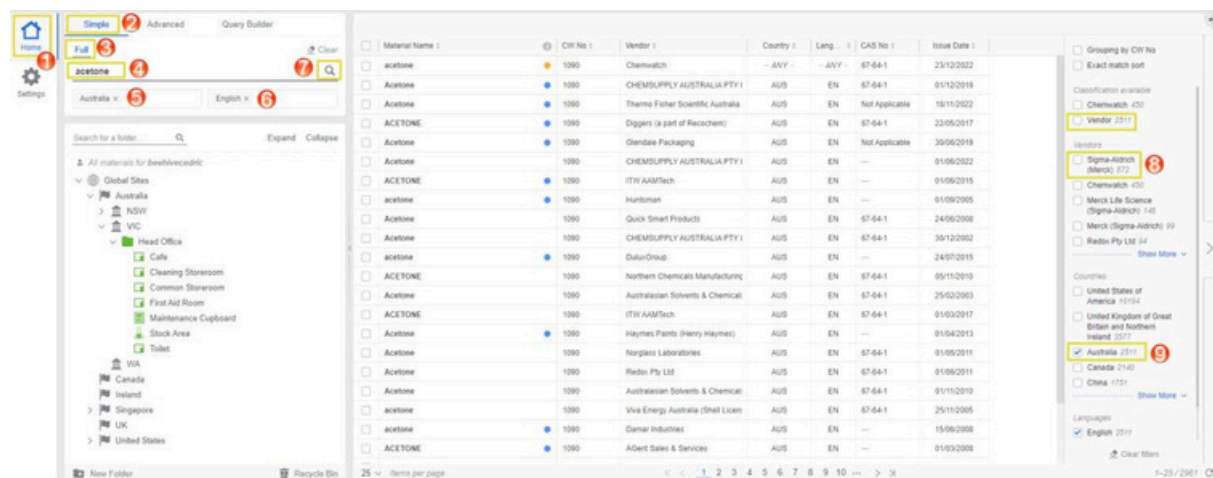
2.2.5.1 製品を検索し、フォルダに製品を追加する

依頼者の要件	ケムウォッチのプロセス	結果
製品を検索してから、ドラッグ・アンド・ドロップで製品をフォルダに追加する。	このプロセスは、ユーザーがSDSをフォルダにドラッグ・アンド・ドロップで追加する、セルフ登録プロセスです。	 読み取り／書き込み権限要。

製品を検索し、製品をドラッグ・アンド・ドロップで保管用フォルダに追加する方法は以下のとおりです。製品をフォルダに追加するには、そのフォルダに対する読み取り／書き込み権限が必要です。

- 物質や製品のSDSがある場合には検索結果に表示されますが、製品のSDSが見つからない場合には、検索結果に「レコードが見つかりません」というメッセージが表示されます。後者の場合には、ベンダーSDSをアップロードするリクエストを、最新バージョンのSDSを添付したうえで、次のEメールアドレスまでご送付ください：msdsuploads@chemwatch.net。

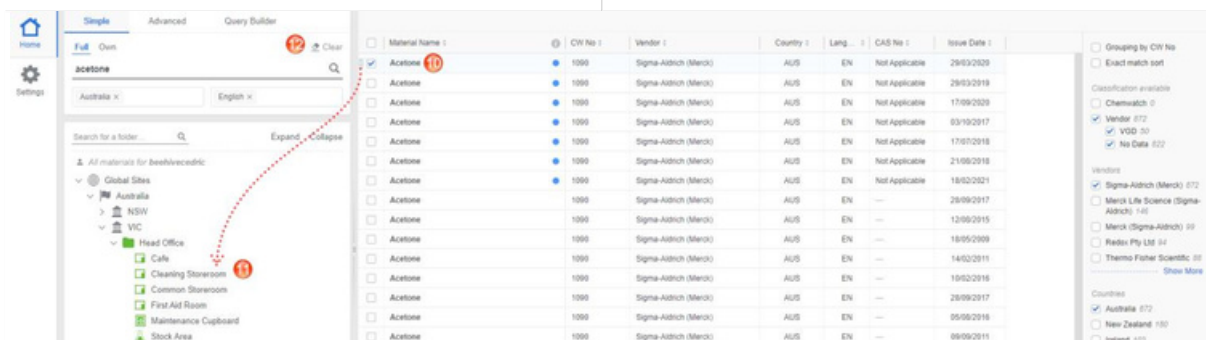
手順：



- ホームモジュールを開く。 
- 簡易タブを開く。
- 虫眼鏡をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行されます。 

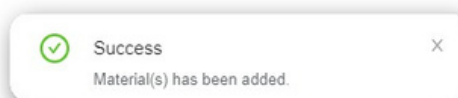
3. 「全データ」を検索対象に指定する。
4. 検索テキストボックスに製品名を入力する。
5. 国をクリックし、国を設定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。

8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、製品リストをさらに特定のメーカー（Sigma Aldrich など）の製品だけに絞る。
9. 国のチェックボックスは、検索設定に基づき既に選択されていますが、ここで更に国を追加することも可能です。



10. 文書名を保管先のフォルダにドラッグ・アンド・ドロップする。
11. フォルダ名をクリックし、製品が追加されたことをご確認ください。
12. 検索パネルにあるクリアボタンを押す。

フォルダに製品が追加されたことを確認するメッセージが表示されます。



2.2.5.2 製品を検索してフォルダにコピーする

依頼者の要件

製品を検索してから、コピー＆ペーストで製品をフォルダに追加する。

ケムウォッチのプロセス

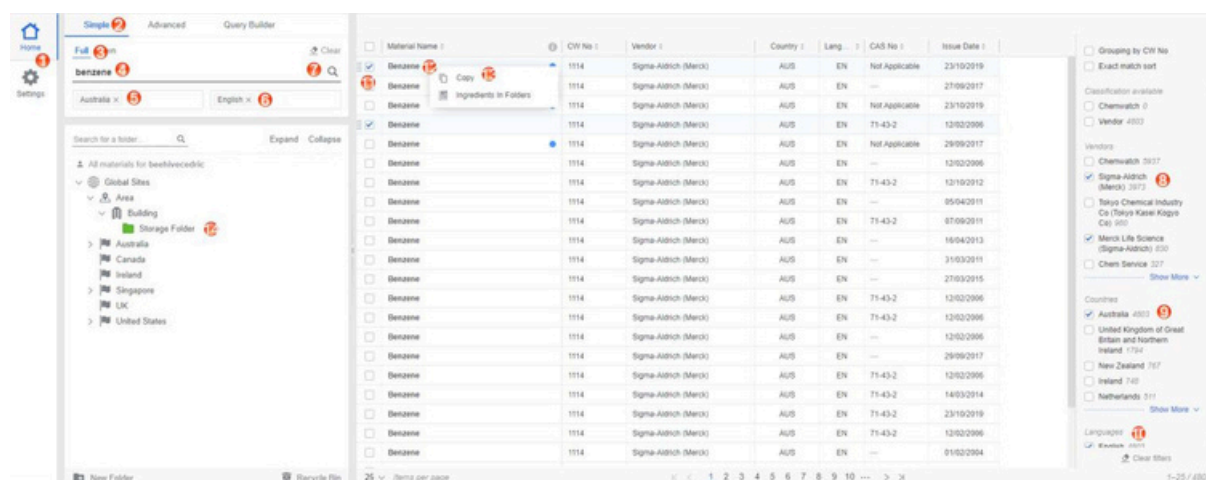
このプロセスは、ユーザーがSDSをフォルダにコピー＆ペーストで追加する、セルフ登録プロセスです。

結果

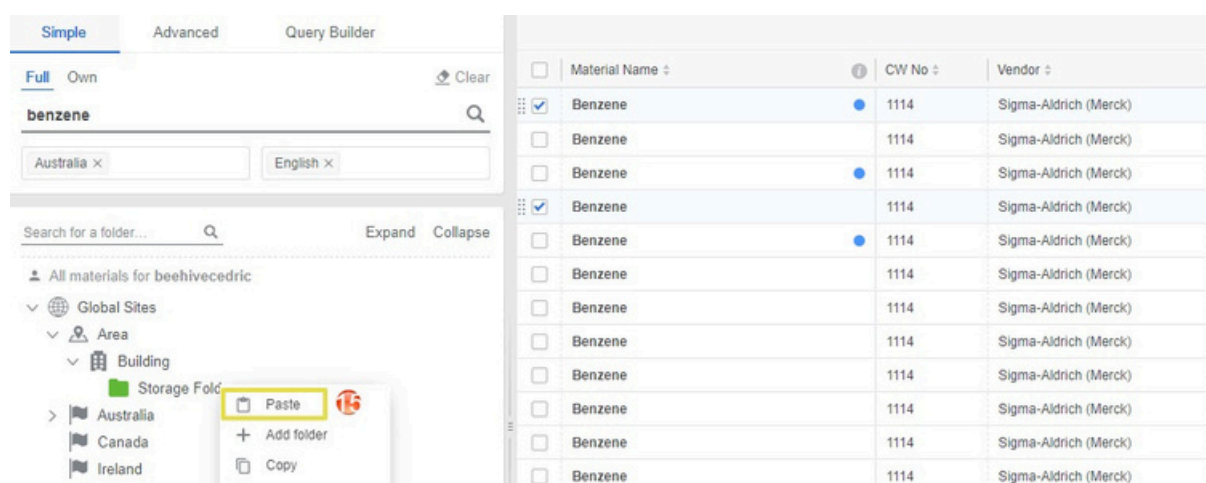
 読み取り／書き込み権限要。

コピー＆ペーストでSDSを保管用フォルダに追加する手順は、以下のとおりです。

手順：コピー＆ペーストで製品のSDSをフォルダに追加する



1. ホームモジュールを開く。
2. 簡易タブをクリックする。
3. 全データタブを選択し、検索対象を指定する。
4. 検索テキストボックスに製品名を入力する。
5. 国をクリックし、国を指定する。
6. 言語をクリックし、リストから言語を選択する。
7. 虫眼鏡をクリックすると、設定したパラメータに基づき検索が実行されます。
8. サイドパネルのベンダーチェックボックスを選択し、製品リストをさらに特定のメーカー（Sigma Aldrich など）の製品のみに絞る。
9. 国のチェックボックスは、検索設定に基づき既に選択されています。
10. 言語のチェックボックスも、検索設定に基づき既に選択されています。
11. コピーしたい製品の名称横のチェックボックスにチェックを入れる。
12. コピーしたい製品の名称を右クリックする。
13. 「コピー」を選択する。
14. コピー先のフォルダを右クリックする。
15. 「貼り付け」を選択し、製品を当該フォルダに追加する。



製品がフォルダにコピーされたことを確認するメッセージが表示されます。

2.2.6 製品のコピー／移動／削除

この章では、以下のアクティビティについて解説しています：

- 右クリックメニューを使用し、製品を別のフォルダにコピーする
- 元フォルダから別のフォルダへ、製品を移動する
- フォルダから製品を削除する
- 右クリックメニューを使用し、コピーした製品を貼り付ける
- 元フォルダから移動した製品を、移動先のフォルダに貼り付ける



バックパック・システムでは、製品のコピー／移動／削除は、製品のデータやSDSのファイルを管理する上で、必要不可欠な操作です。これらの製品は、ひとつまたは複数のフォルダに保存することができます。この章では、コピー／移動／削除機能を使用して、フォルダツリー全体に製品を分散して保存する方法について解説します。

機能	ユーザーがすること	システムの動作	権限
製品のコピー／移動／削除	フォルダ内の製品をコピー／移動／削除する。	右クリックから製品をコピー、移動、または削除を選択する。	 読み取り／書き込み権限要。

- i** 読み取り専用の権限が付与されているユーザーは、フォルダ内に製品を保存することはできませんが、ドメイン管理者により特定のフォルダにのみ書き込み用の権限が付与されている場合があります。ご自身に付与されている権限を知りたい場合には、customerservice@chemwatch.net までお問い合わせください。

次の章では、製品をコピー／移動／削除する方法について解説しています。

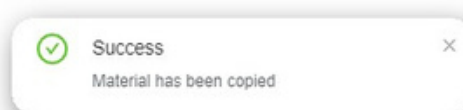
2.2.6.1 製品を別のフォルダにコピーする

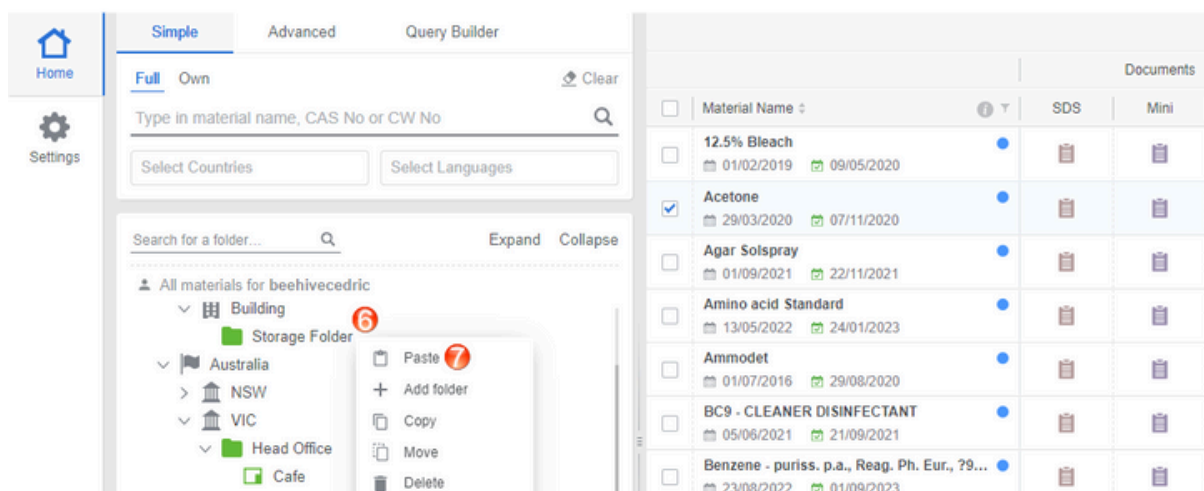
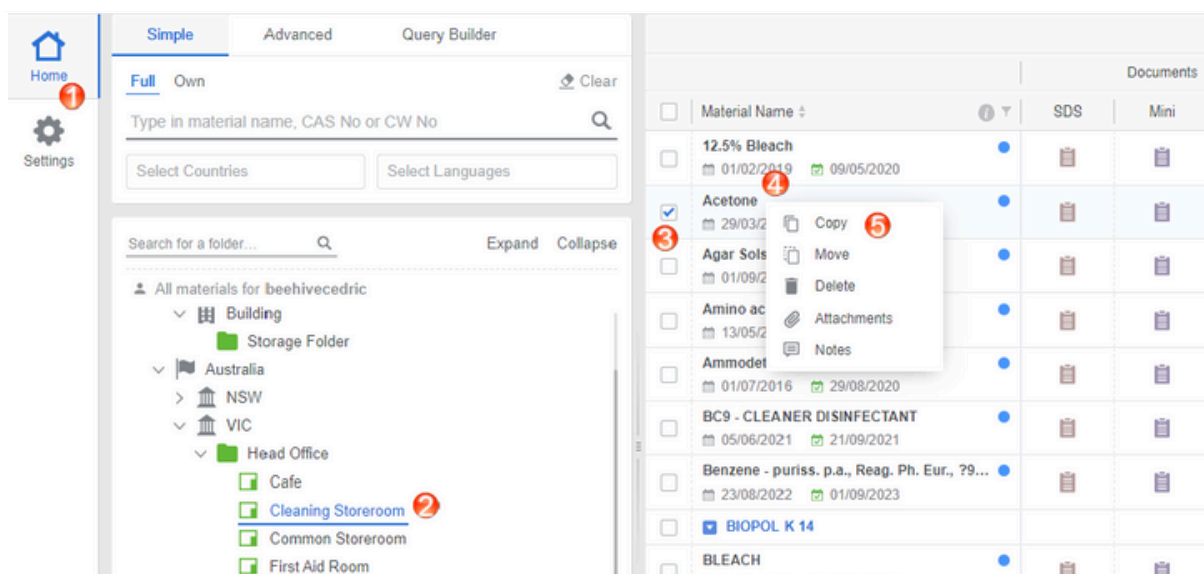
製品をあるフォルダから別のフォルダにコピーする手順は、以下のとおりです。

手順: 資料を別のフォルダにコピーする方法

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスにチェックを入れる。
4. 製品名を右クリックする。
5. 「コピー」を選択する。正しくコピーされたことを示すメッセージが表示されます。

6. コピー先のフォルダを右クリックする。
7. 「貼り付け」を選択する。正しくコピーされたことを示すメッセージが表示されます。





2.2.6.2 元フォルダから製品を移動する

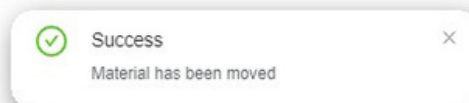
製品を元フォルダから別のフォルダに移動する方法は、以下のとおりです。

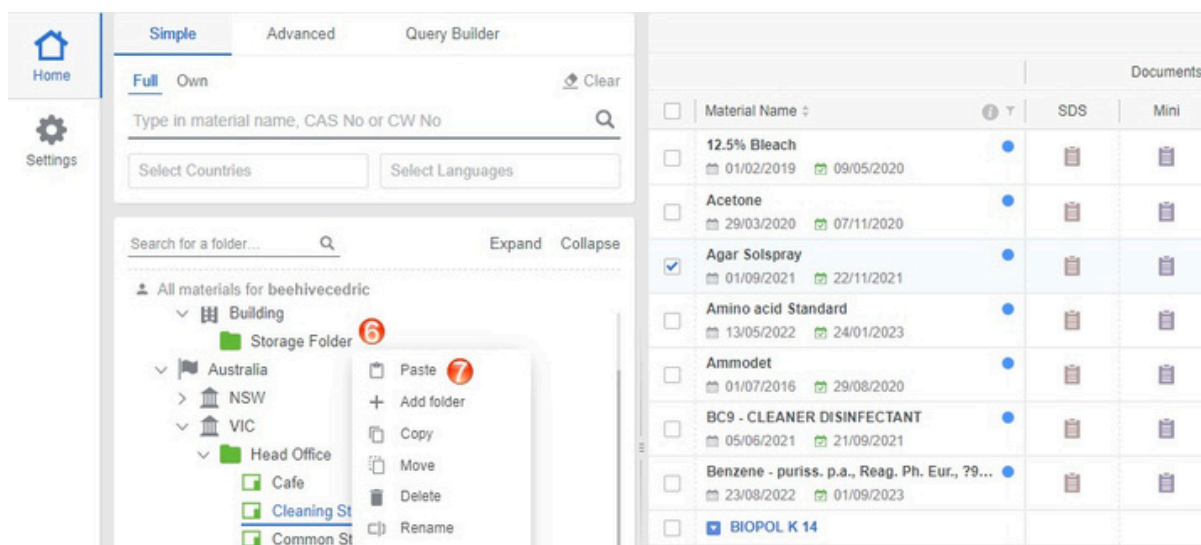
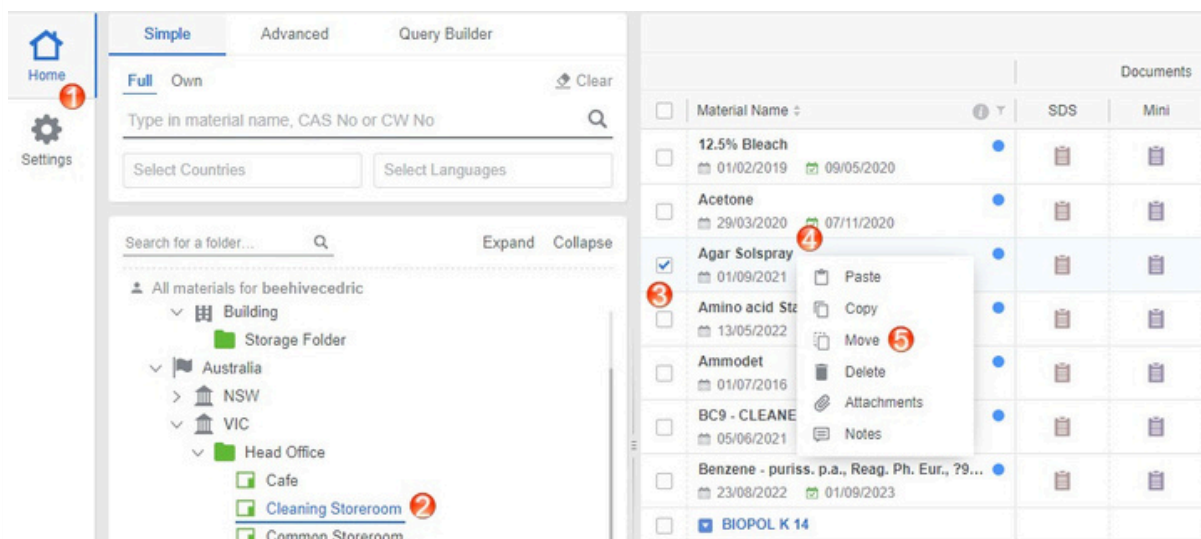
手順：元フォルダから製品を移動する

1. ホームモジュールを開く。🏠
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスにチェックを入れる。
4. 製品名を右クリックする。
5. 「移動」を選択する。

6. 移動先のフォルダを右クリックする。
7. 「貼り付け」を選択する。

正しく移行されたことを示すメッセージが表示されます。

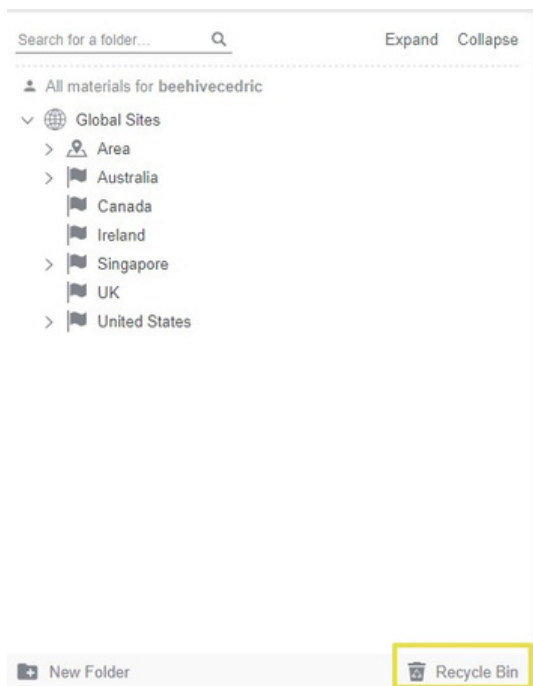




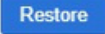
2.2.6.3 フォルダから製品を削除する

ごみ箱

製品がフォルダから削除されると、フォルダパネルの右下の隅にある「ごみ箱」と呼ばれる一時的な保存場所に、通常は製品が移動します。



ごみ箱には次の要素があります:

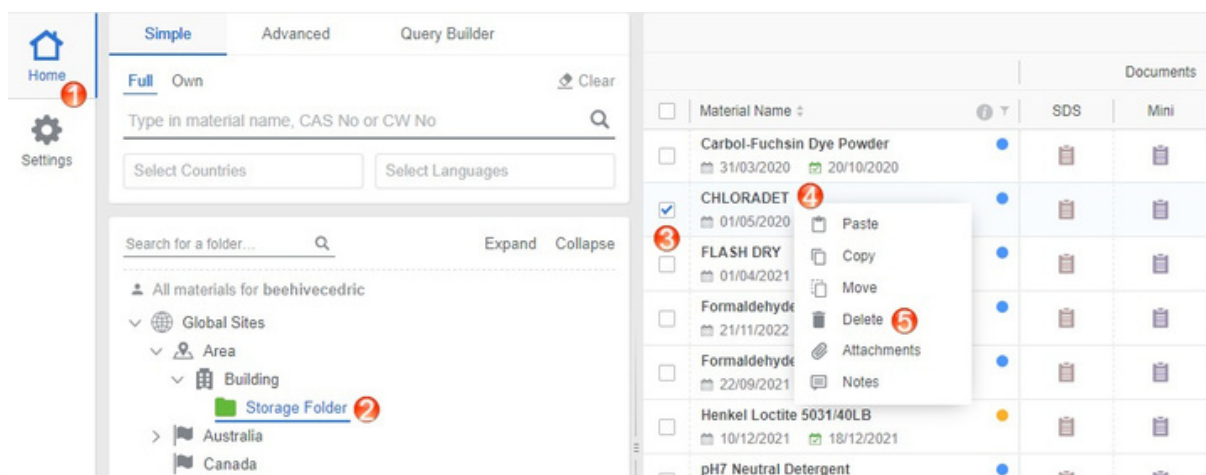
要素	概要
場所のみを表示 	このチェックボックスをオンにすると、ごみ箱のテーブルに削除されたアイテムのリストが場所ごとに表示されます。 ☐
文書のみを表示 	このチェックボックスをオンにすると、ごみ箱のテーブルに削除されたアイテムのリストが表示されます。 ☐
検索 	この機能により、キーワードや製品名を入力し、削除されたアイテムを素早く見つけることができます。
復元 	復元機能は、重要な資料やフォルダを誤って削除した場合のセーフティネットとなります。
ページ 	数多くの検索結果から特定の情報を見つける必要がある場合にご利用ください。
名称	削除されたアイテムが、文書／フォルダ名別に表示されます。
タイプ	削除されたアイテムが、タイプ列のアイコンが「文書」または「フォルダ」の場合のみ表示されます。
ベンダー	削除された文書が製品名別に表示されます（タイプ列のアイコンは「文書」となります）。

削除日	製品やフォルダが削除された日付が表示されます。
初期ロケーション	削除されたアイテムの初期ロケーションのパスが表示されます。

フォルダから製品を削除する方法は、以下のとおりです。
 削除された製品はごみ箱に移動します。ユーザーが誤って製品を削除した場合に、そのアイテムを元の場所に復元するオプションが、システム上で提供されています。



手順：フォルダから製品を削除する方法



1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスにチェックを入れる。
4. 製品名を右クリックする。
5. 「削除」を選択する。

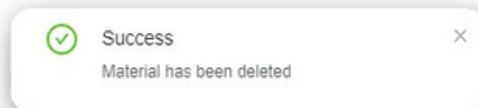


削除されたアイテムは、以下のように、フォルダパネルの右下にあるごみ箱にアーカイブ保存されます。

6. ポップアップメッセージに「はい」と答える。
7. ポップアップメッセージで「はい」を選択して確認します。

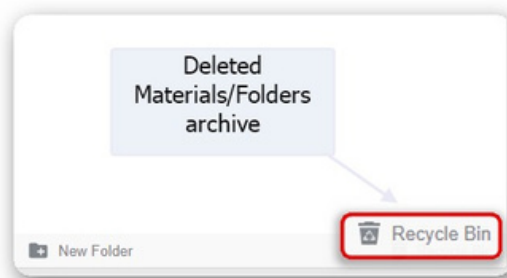
Do you want to delete selected materials?

選択が成功したことを示すメッセージが表示されます。



手順: ゴミ箱の中身を確認する

1. ホームモジュールを開く。🏠
2. ゴミ箱のボタンをクリックする。🗑️



Recycle Bin

☐ Show Only Locations

☐ Show Only Documents

Search...

☐

Name

Type

Vendor

Date of deletion

Initial Location Path

☐

CHLORADET

Agar Cleaning Systems

28/03/2024

/Global Sites/Area/Building/Storage Folder

☐

BLEACH

Agar Cleaning Systems

01/09/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Boxhill site/CI...

☐

Baw Baw Site

31/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site

☐

Bellbird Park Indoor Centre

31/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

☐

Cabinet Aisle 1

31/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

☐

Rawson Indoor Pool

31/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

☐

Calcium sulfate dihydrate precipitated EMPROVE® ESSENTIAL Ph Eur,BP,E 516

Sigma-Aldrich (Merck)

30/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

☐

Carbol-Fuchsin Dye Powder

Sigma-Aldrich (Merck)

30/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

☐

Hydrochloric acid

Sigma-Aldrich (Merck)

30/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

☐

Methyl thiobutyrate

Sigma-Aldrich (Merck)

30/08/2023

/Global Sites/Australia/Victoria/Baw Baw Site/...

N-tert-Butyldimethylsilyl-

<

1

2

3

>

20 / page

v

Restore

Cancel

3.0 レポートの印刷、ダウンロードおよび共有

この章では、以下のアクティビティについて解説しています

- フォルダ内の製品のリストをPDF形式で印刷する
- ベンダーSDSをPDF形式で印刷する
- ベンダーSDSをダウンロードする
- ベンダーSDSをEメールで共有する
- レポート生成機能を使用してレポートを出力する

含まれる
トピック

印刷



印刷機能をご利用いただくと、製品リストやSDSのファイルを印刷／ダウンロードしたり、メールで送信することができます。アーカイブ保存や監査などのために、物理的なコピーやソフトコピーを作成しておきたい場合があるかもしれません。誰でも簡単にアクセスできる形式での情報の共有、配布および保存を目的としています。

Print Out

Report

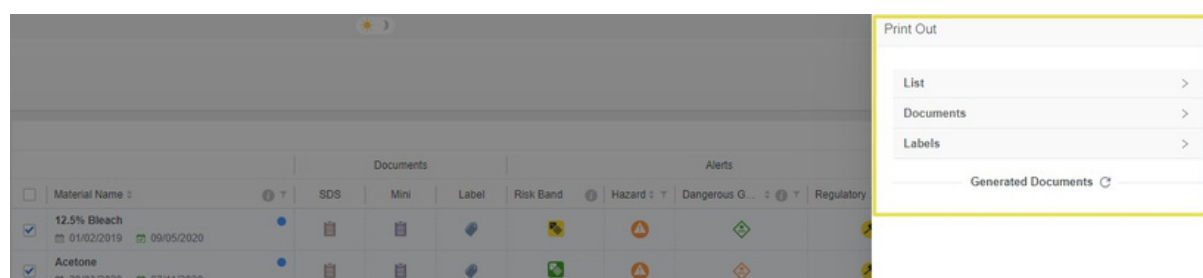
Show subfolders

Advanced View

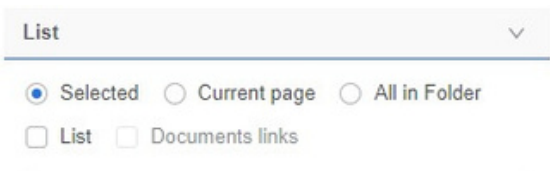
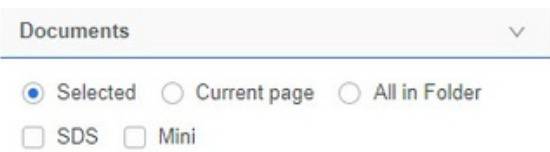
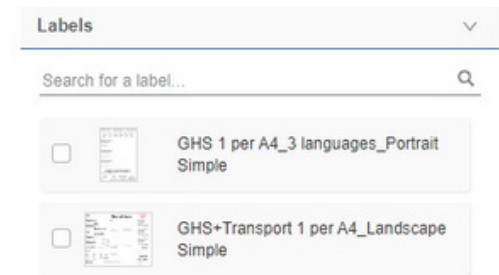
Documents				Alerts						
Material Name	SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G	Regulatory	Current	Volume	Material Tags
12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020								200	L	
Acetone 29/03/2020 07/11/2020								0	L	
Agar Solispray 01/09/2021 22/11/2021						No UN		1500	L	
Amino acid Standard 13/05/2022 24/01/2023								0	L	
Ammodet 01/07/2016 29/08/2020						No UN		15	L	

印刷オプション:

- リスト
- 文書
- ラベル



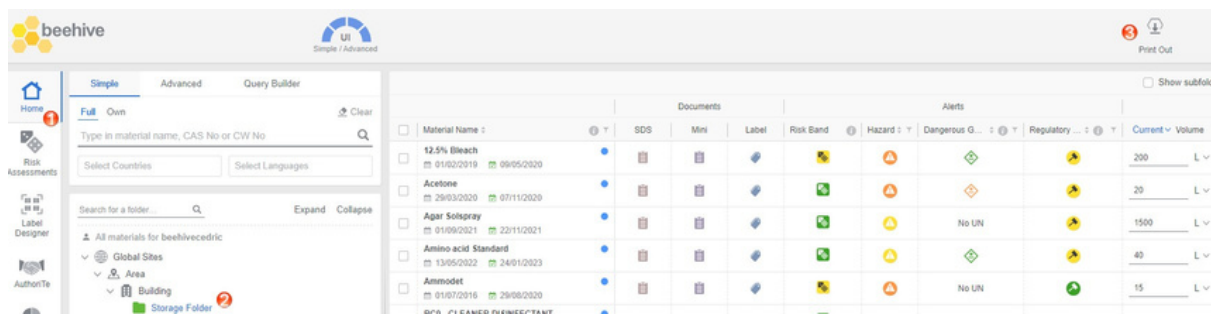
印刷オプションについての説明は、以下のとおりです。

リスト	タイプ	説明
	リスト	選択した製品、現在のページ、またはフォルダ内のすべての製品のリストを、印刷します。
文書	Type	説明
	SDS	選択した製品、現在のページ、またはフォルダ内のすべてのSDSを印刷します。
	ミニ	選択した材料、現在のページ、またはフォルダ内のすべてのミニSDSを印刷します。
ラベル	Type	説明
	GHS 形式 のラ ベル	ラベルのテンプレートをオプションから選択し、選択した製品、現在のページ、またはフォルダ内のすべての製品の表示ラベルを印刷します。

3.1 リストの印刷

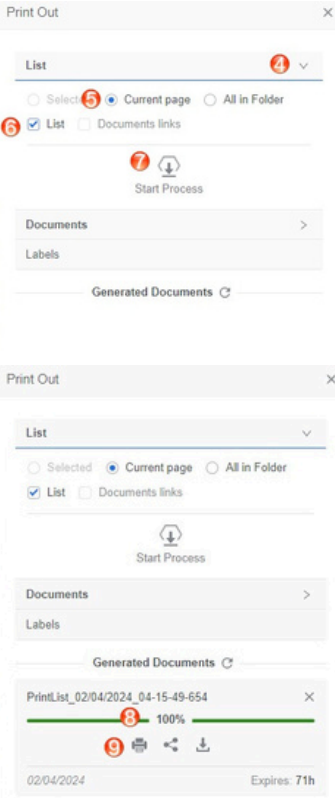
印刷形式のリストレポートを生成する方法は、以下のとおりです。

手順：製品リストの印刷方法



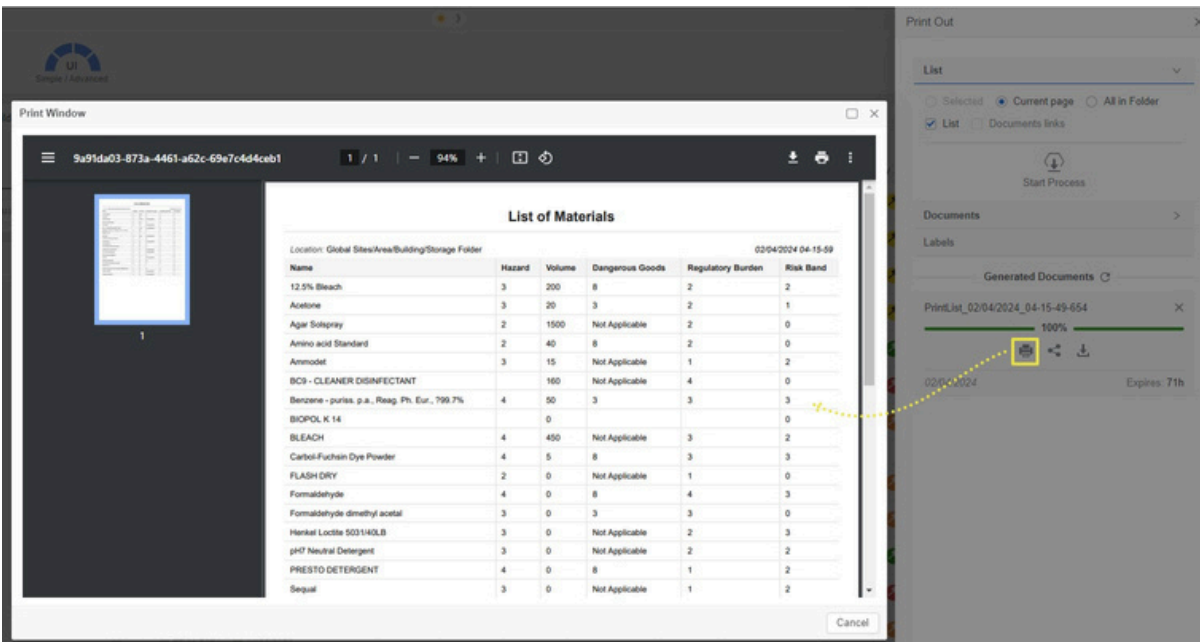
1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
6. 「リスト」チェックボックスにチェックを入れます。
7. 「プロセス開始」をクリックします。

- 画面右上の「印刷」ボタンをクリックする。
- リストの右側の矢印をクリックする。デフォルトでは「現在のページ」が選択されていることにご注意ください。他のオプションを選択するか、デフォルトの選択を維持します。
- 進行状況バーが 100% になった時点でレポートが生成されるまでしばらくお待ちください。ダウンロードしたファイルの有効期限にご注意ください。
- 進行状況を示すバーの下にある「印刷」、「共有」、「ダウンロード」ボタンを選択します。



Material Name	SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G...	Regulatory
12.5% Bleach	01/02/2019	09/05/2020					
Acetone	29/03/2020	07/11/2020					
Agar Solispray	01/09/2021	22/11/2021				No UN	
Amino acid Standard	13/05/2022	24/01/2023					

印刷ウィンドウがPDF形式で出力されます。



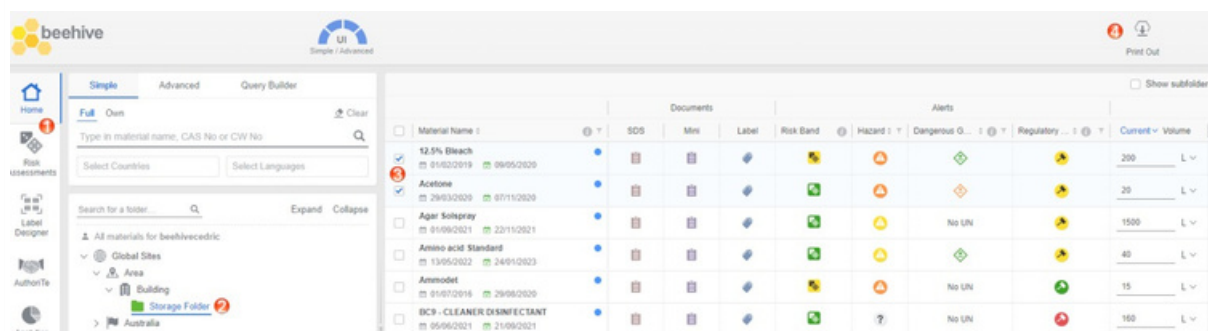
Name	Hazard	Volume	Dangerous Goods	Regulatory Burden	Risk Band
12.5% Bleach	3	200	8	2	2
Acetone	3	20	3	2	1
Agar Solispray	2	1500	Not Applicable	2	0
Amino acid Standard	2	40	8	2	0
Ammodet	3	15	Not Applicable	1	2
BC9 - CLEANER DISINFECTANT	3	160	Not Applicable	4	0
Benzene - puriss. p.a., Reag. Ph. Eur., 99.9%	4	50	3	3	3
BIOPOL K 14	0	0	0	0	0
BLEACH	4	450	Not Applicable	3	2
Carbol-Fuchsin Dye Powder	4	5	8	3	3
FLASH DRY	2	0	Not Applicable	1	0
Formaldehyde	4	0	8	4	3
Formaldehyde dimethyl acetal	3	0	3	3	0
Henkel Loctite 503140LB	3	0	Not Applicable	2	3
pH7 Neutral Detergent	3	0	Not Applicable	2	2
PRESTO DETERGENT	4	0	8	1	2
Sequal	3	0	Not Applicable	1	2

3.2 ベンダーSDSを印刷する

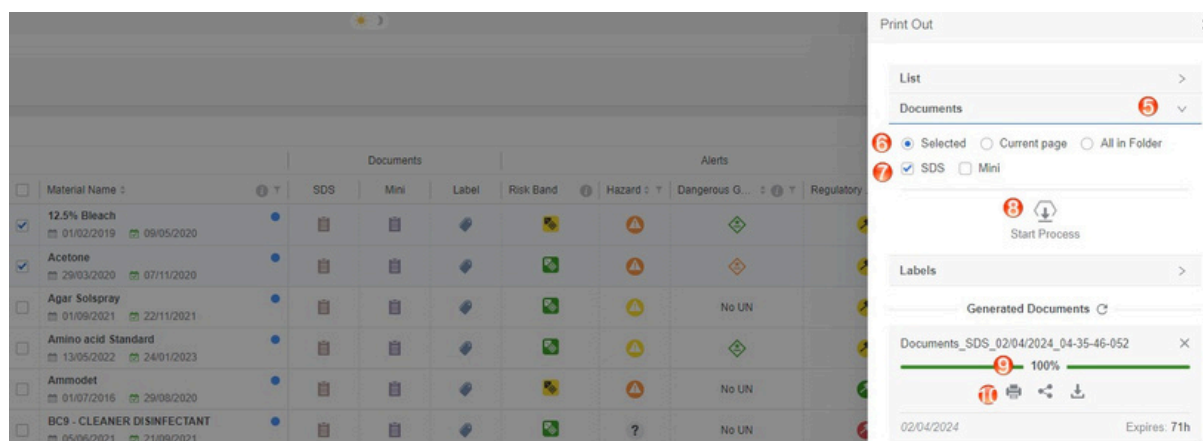
ベンダーSDSのPDFファイルの印刷の仕方は以下の通りです。



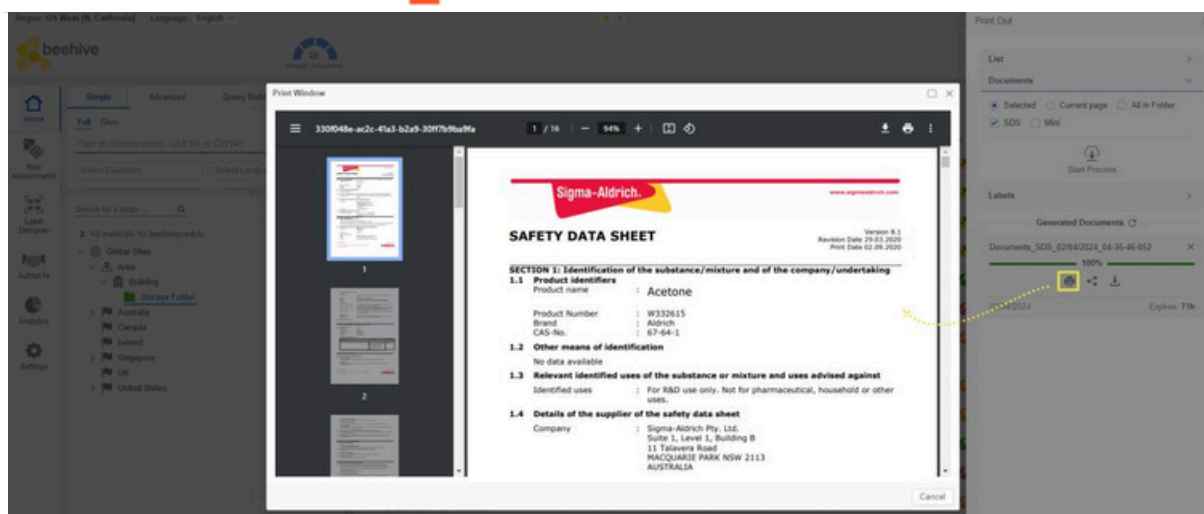
手順



1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 印刷したい製品のチェックボックスをクリックする。
4. 画面の右上にある「印刷」をクリックする。
5. 「文書」の右側の矢印をクリックする。
6. デフォルトで現在のページが選択されていることを確認する。デフォルトの設定を維持するためには「選択済」を選択する。
7. SDSのチェックボックスを選択する。
8. 「プロセス開始」をクリックする。
9. 進行状況バーが100%になるまでお待ちください。ダウンロードしたファイルの有効期限にご注意ください。
10. 進行状況を示すバーの下にある「印刷」「共有」「ダウンロード」ボタンを選択する。



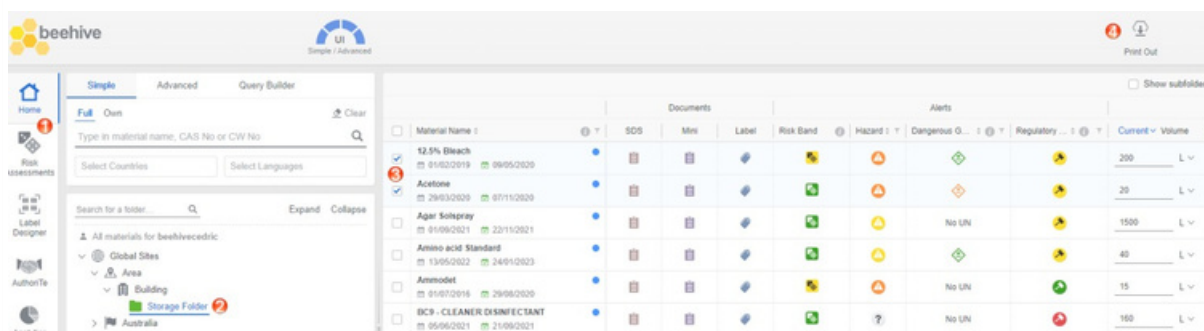
ベンダーSDSのPDFを表示する 



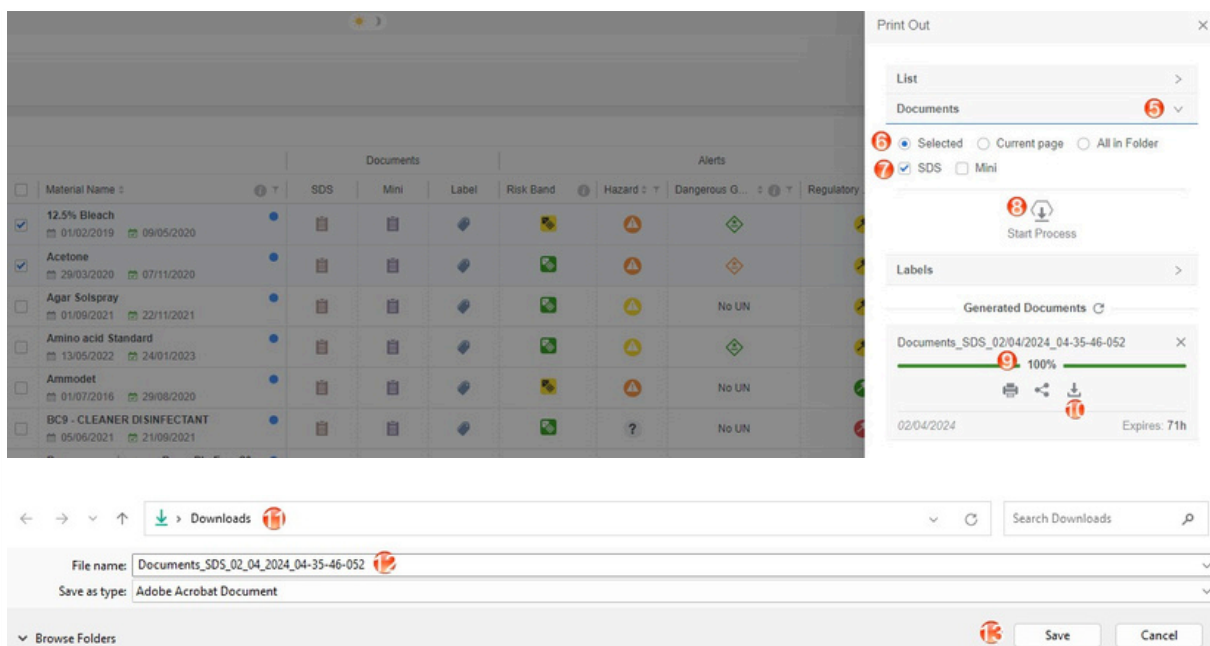
3.3 ベンダーSDSをダウンロードする

ベンダーSDSのPDFファイルのダウンロードの仕方は以下の通りです。 

手順



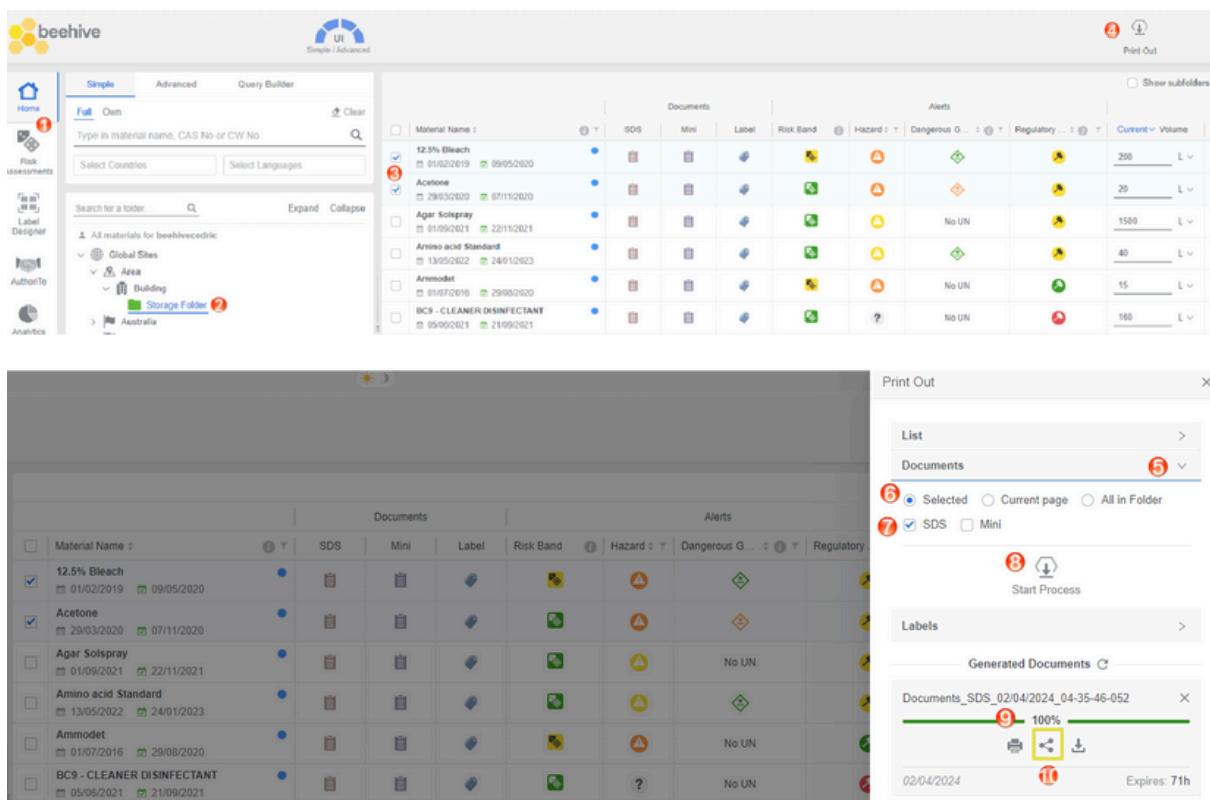
1. ホームモジュールを開く。 
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 表示させたい製品のチェックボックスをクリックする。
4. 右上の印刷ボタンをクリックする。 
5. 文書の右側の矢印をクリックする。
6. 現在のページがデフォルトで選択されていることを確認する。デフォルトの設定を維持するためには「選択済」を選択する。
7. SDSのチェックボックスを選択する。
8. 「プロセス開始」をクリックする。 
9. 進行状況バーが100%になるまでお待ちください。ダウンロードしたファイルの有効期限にご注意ください。
10. 進行状況を示すバーの下にある「印刷」「共有」「ダウンロード」ボタンを選択する。
11. デフォルトでダウンロードフォルダが選択されていない場合、保存先を選択する。
12. ファイル名を変更する。
13. ダウンロードを完了するために、「保存」をクリックする。



3.4 ベンダーSDSを共有する

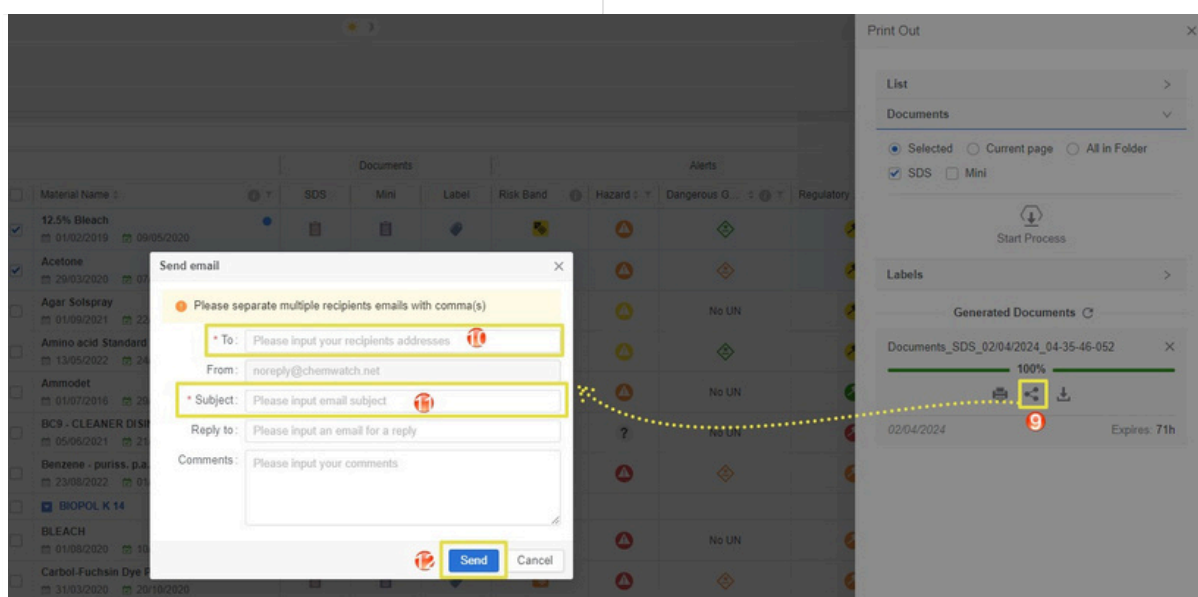
メールでベンダーSDSのPDFファイルを共有する方法は以下になります。添付
入力した通りに受取人はメールを受け取ることにご注意ください。

手順: ベンダーSDSの (eメールでの) 共有の仕方

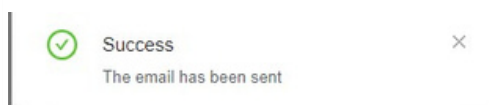


1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 送付したい製品のチェックボックスをクリックする。
4. 右上の印刷ボタンをクリックする。
5. 文書の右側の矢印をクリックする。
6. 現在のページがデフォルトで選択されていることを確認する。デフォルトの設定を維持するためには「選択済」を選択する。
7. SDSのチェックボックスを選択する。

8. 進行状況バーが100%になるまでお待ちください。ダウンロードしたファイルの有効期限にご注意ください。
9. 進行状況を示すバーの下にある「印刷」「共有」「ダウンロード」ボタンを選択する。
10. 「to」と送信先のメールアドレスを入力する。「返信先」に自分のメールアドレスを入力する。
11. 件名とコメントを入力し、送信ボタンをクリックしてメールを送信する。
12. 無事にメールが送信されるとポップアップウィンドウに表示される。



メールの確認。



3.5 レポート生成機能を使ってレポートを作成する

レポート生成機能を用いてレポートを作成する方法は以下の通りです。



手順

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を一覧表示し、対象製品のチェックボックスを選択する。
3. 右上にある「レポート」をクリックする。
4. 現在のページがデフォルトで選択されていることを確認する。デフォルトの設定を維持するためには「選択された」を選択する。
5. 「基本」または「詳細」を選択する。この例では「基本」が選択されている。
6. テンプレートのドロップダウンリストからレポート名を選択する。
7. テンプレートの中からレポートのフォーマットを選択する (xlsx, xls, csv, xml, html, xlsx)。
8. オプション: 「画像をダウンロード」チェックボックスをオンにして、グラフィックを生成します。レポートテンプレートに画像データポイントが含まれている場合に適用されます。
9. プロセス開始ボタンをクリックする。進行状況バーが100%になるまでお待ちください。
10. ダウンロードボタンをクリックする。
11. ダウンロードしたファイルを保存する。

The screenshot shows the Beehive software interface. The main window displays a list of materials with checkboxes. The right sidebar shows the 'Report Generator' panel with options for report format (XLSX) and download images. A progress bar at the bottom indicates 100% completion.

Material Name	SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G...	Regulatory
12.5% Bleach	01/02/2019	09/05/2020					
Acetone	29/03/2020	07/11/2020					
Agar Solispray	01/09/2021	22/11/2021				No UN	
Amino acid Standard	13/05/2022	24/01/2023					
Ammodet	01/07/2016	29/08/2020				No UN	
BC9 - CLEANER DISINFECTANT	05/06/2021	21/09/2021				No UN	
Benzene - puriss. p.a., Reag. Ph. Eur., 79...	23/08/2022	01/09/2023					
BIOPOL K 14							

< → ▾ ↑  Downloads ▾ ↻ Search Downloads 🔍

File name: Report_OwnDG_(02_04_2024_04-28-57-729) ▾
 Save as type: Microsoft Excel Worksheet ▾

▾ Browse Folders Save Cancel

ダウンロードされたレポート

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	UN	Material Name	GHS H Codes	Shipping Name	DG Primary Class	Hazchem	Packing Group	Location
2	1791	12.5% Bleach	AUH031 H400 H314	HYPOCHLORITE SOLUTION	8	2X	III	
3	1090	Acetone	H225 H336 H319	ACETONE	3	*2YE	II	
4								

4.0 優先名および製品番号

一般的に、IUPACシステムの化学物質の名前は長くて若干複雑であり、特に混合物をデータベースで検索する時には覚えることが困難です。様々な製品に頻繁に用いられる化学物質は容易に検索できるよう、組織内独自の優先名やユーザー製品番号を設定することができます。

ユーザー製品番号は通常、特定の製品を検索するために使用され、在庫またはコレクション全体の中から特定のSDSを正確に見つけるための迅速かつ簡単な方法として使用されます。

- ① 製品番号はベンダーまたはユーザーに依存することもあります。ベンダー製品番号は、実際のベンダーSDSで製造元が提供する製品番号です。ユーザー製品番号は、ケムウォッチシステム内で、ユーザーが製品の識別方法として割り当てる番号です。

優先名または製品番号の作成は、企業または組織内のプログラムの管理者によって決定されたユーザー権限に帰属します。一部のユーザーは権限が制約されており、優先名や製品番号の表示、または検索のみが許可されることがあります。

4.1 優先名を作成する

製品の優先名を作成する方法は以下の通りです。

手順: 優先名を作成する方法

Material Name	SDS	Mini	Label	Risk Band	Haz
12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020					
2,2,2 Trifluoroacetamide 13/09/2020					
Acetone 29/03/2020 07/11/2020					
Agar Soispray 01/09/2021 22/11/2021					
Amino acid Standard 13/05/2022 24/01/2023					
Ammodet 01/07/2016 29/08/2020					

			Documents				Alerts			
☐	Material Name		SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G...	Regulatory ...	
☐	12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020									
☒	2,2,2 Trifluoroacetamide 13/08/2020							No UN		
☐	Acetone 29/03/2020 07/11/2020									
☐	Agar Solspray 01/09/2021 22/11/2021							No UN		

1. ホームモジュールを開く。
2. フォルダをクリックし、製品を表示させる。
3. 製品のチェックボックスをクリックする。
4. マウスのカーソルを優先名の右に移動すると、編集アイコンが表示されるので、クリックする。
5. 優先名追加の箇所から、優先名を入力する。
6. 「追加」をクリックする。
記録を保存するには、チェックアイコンをクリックする。

			Documents				Alerts			
☐	Material Name		SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G...	Regulatory ...	
☐	12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020									
☒	2,2,2 Trifluoroacetamide 13/08/2020							No UN		
☐	Acetone 29/03/2020 07/11/2020									
☐	Agar Solspray 01/09/2021 22/11/2021							No UN		

☐ Show subfolders ☐ Advanced View

Add Preferred Name 6

2 Trifloro 5 Add

Preferred Name Search...

Material Name

☒ 2,2,2 Trifluoroacetamide

User's Preferred Name ?

ポップアップウィンドウに成功と表示された後、パネルに優先名が表示される。

Success X

Preferred Name Saved

			Documents				Alerts			
☐	Material Name		SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G...	Regulatory ...	
☐	12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020									
☒	2,2,2 Trifluoroacetamide 13/08/2020							No UN		
☐	Acetone 29/03/2020 07/11/2020									
☐	Agar Solspray 01/09/2021 22/11/2021							No UN		

☐ Show subfolders ☐ Advanced View

Add Preferred Name

Preferred Name... Add

Preferred Name Search...

Material Name

☒ 2,2,2 Trifluoroacetamide

User's Preferred Name ?

			Documents				Alerts			
☐	Material Name		SDS	Mini	Label	Risk Band	Hazard	Dangerous G...	Regulatory ...	
☐	12.5% Bleach 01/02/2019 09/05/2020									
☒	2 Trifloro 13/08/2020							No UN		
☐	Acetone 29/03/2020 07/11/2020									
☐	Agar Solspray 01/09/2021 22/11/2021							No UN		
☐	Amino acid Standard 13/05/2022 24/01/2023									

☐ Show subfolders ☐ Advanced View

Add Preferred Name

Preferred Name... Add

Preferred Name Search...

Material Name

☐ 2,2,2 Trifluoroacetamide

☒ 2 Trifloro 02/04/2024

付録

SDSの構成

SDSを作成するための準備として必要とされるコードやSDSの構成などを示します。

セクション	見出し
1. 製品に関する情報	• 製品名 • 同義語 • 推奨用途及び仕様上の制限 • 供給者の詳細 • 緊急連絡番号
2. 危険有害性の要約	• 危険有害性の分類 • 危険有害性情報を含むラベル要素 • その他の注意書き
3. 組成及び成分情報	• 物質 • CAS番号、官報公示整理番号 • % [重量]
4. 応急措置	• 必要な応急措置の説明 • ばく露による症状 • 医師に対する特別な注意事項
5. 火災時の措置	• 消火剤 • 特有の危険有害性 • 消火活動に関する情報
6. 漏出時の措置	• 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 • 環境に対する注意事項 • 封じ込め及び浄化の方法及び機材
7. 取り扱い及び保管上の注意	• 安全な取り扱いのための予防措置 • 混触危険性を含む、安全な保管条件
8. ばく露防止及び保護措置	• 管理パラメーター – 許容濃度、緊急ばく露濃度 • ばく露管理 • 推奨される保護具
9. 物理的及び化学的性質	• 外観 • 臭い • 臭覚閾値 • pH • 融点／凝固点 • 沸点及び沸点範囲 • 引火点

	• 蒸発速度 • 可燃性 • 爆発上限界／下限界 • 蒸気圧 • 蒸気密度 • 相対密度 • 溶解度 • n-オクタノール／水分配係数 • 自然発火点 • 分解温度 • 動粘性率 • 比熱値 • 粒径 • 揮発性有機化合物 • 揮発性成分% • 飽和蒸気濃度 • 目に見えない可燃性の蒸気やガスの放出
その他の特性	• 形状とアスペクト比 • 結晶度 • 粉塵度 • 表面積 • 凝集または集塊の度合い • イオン化（酸化還元電位） • 生体耐久性または生体持続性
10. 安定性及び反応性	• 反応性 • 化学的安定性 • 避けるべき条件 • 混触危険物質 • 危険有害な分解生成物
11. 有害性情報	• 毒物学的影響に関する情報 • ばく露した場合の症状 • 毒性の数値的測定 • ばく露による急性、慢性的な健康影響 • ばく露レベル • 相互作用 • データの制約
12. 環境影響情報	• 生態毒性 • 残留性・分解性 • 生態蓄積性 • 土壌中の移動性 • その他の有害影響
13. 廃棄上の注意	• 廃棄方法

	• 製品／容器／包装の廃棄方法 • 環境基準
14. 輸送上の注意	• 国連番号 • 輸送名 • 輸送時の危険性クラス • 容器等級 • 環境有害性 • 特別予防措置 • 緊急行動コード
15. 適用法令	• 物質または混合物に特有な安全、健康及び環境に関する規則
16. その他の情報	• 最初の発行日または改定日 • 定義および略語

GHSのピクトグラムと危険物標識

9つの危険ピクトグラムは、物理的、健康的、および/または環境的危険を表します。慢性的な健康危険には、発がん性物質、生殖毒性物質、変異原性物質、特定の標的臓器毒性物質、および吸引毒性物質が含まれます。以下はGHS危険ピクトグラムとADGダイヤモンドの比較表です。

危険ピクトグラムとADG

危険ピクトグラム	GHSハザード	危険性クラスラベル（ピクトグラム）	危険物クラス
 爆弾の爆発	爆発物 自己反応性化学品 有機過酸化物	   	爆発物
 炎	可燃性 自己反応性 発火性物質 自己発熱性 水反応可燃性 有機過酸化物	     	可燃性／引火ガス 発火性、発火ガスの放出 有機過酸化物
 円上の炎	酸化剤	 	酸化剤 酸化性ガス
 ガスボンベ	高圧ガス	   	非毒性の不燃性ガス、可燃性ガス、酸化性ガス、有毒ガス

 どくろ	急性毒性	 	急性毒性ガス
 感嘆符	急性毒性 皮膚刺激性 眼刺激性 皮膚感作性	該当なし	
 健康有害性	発がん性 呼吸器感作性 生殖毒性 特定標的臓器 毒性 生殖細胞変異 原性	該当なし	
 腐食性	眼に対する重 篤な損傷性 皮膚腐食性 金属腐食性		金属腐食性
 環境	水生環境有 害性 職場の有害 化学物質要 件の範囲外		環境有害性
同等の危険ピクト グラムなし			その他の危険物
職場の有害化学物質要件の範 囲外			感染性

職場の有害化学物質要件の範囲外



放射性

分類ガイド（アイコンの説明）

RISK PHRASES (PHYSICAL) *

R11 / EUH001 Explosive when dry	R2 / EUH002 Risk of explosion by shock, friction, fire or other source of ignition	R3 / EUH003 Extreme risk of explosion by shock, friction, fire or other source of ignition	R4 / EUH004 Firms very sensitive explosive reaction to compounds	R5 / EUH005 Heating may cause an explosion	R6 / EUH006 Explosive with or without contact with air	R7 / EUH007 May cause fire
R8 / H228 Contact with combustible material may cause fire	R9 / H229 Explosive when mixed with combustible material	R10 / H228 Flammable	R11 / H229 Highly flammable	R12 / H228 Extremely flammable	R13 / H229 Extremely flammable	R14 / EUH014 Reacts violently with water
R15 / EUH015 Contact with water liberates extremely flammable gases	R16 / EUH016 Explosive when mixed with oxidizing substances	R17 / H250 Spontaneously flammable in air	R18 / EUH018 In case, may form inflammable explosive vapour at moisture	R19 / EUH019 May form explosive peroxides		

RISK PHRASES (HEALTH) *

R20 / H302 Harmful by inhalation	R21 / H312 Harmful in contact with skin	R22 / H332 Harmful if swallowed	R23 / H334 May cause asthma by inhalation	R24 / H311 Toxic in contact with skin	R25 / H331 Toxic if inhaled	R26 / H333 Very toxic by inhalation	R27 / H330 Very toxic by inhalation
R28 / H314 Very toxic in contact with skin	R29 / H314 Very toxic if swallowed	R30 / H314 Very toxic if swallowed	R31 / H314 Very toxic if swallowed	R32 / H314 Very toxic if swallowed	R33 / H314 Very toxic if swallowed	R34 / H314 Very toxic if swallowed	R35 / H314 Very toxic if swallowed
R36 / H336 Irritating to skin	R37 / H336 Irritating to eyes	R38 / H336 Irritating to eyes	R39 / H336 Irritating to eyes	R40 / H336 Irritating to eyes	R41 / H336 Irritating to eyes	R42 / H336 Irritating to eyes	R43 / H336 Irritating to eyes
R44 / H336 Irritating to eyes	R45 / H336 Irritating to eyes	R46 / H336 Irritating to eyes	R47 / H336 Irritating to eyes	R48 / H336 Irritating to eyes	R49 / H336 Irritating to eyes	R50 / H336 Irritating to eyes	R51 / H336 Irritating to eyes
R52 / H336 Irritating to eyes	R53 / H336 Irritating to eyes	R54 / H336 Irritating to eyes	R55 / H336 Irritating to eyes	R56 / H336 Irritating to eyes	R57 / H336 Irritating to eyes	R58 / H336 Irritating to eyes	R59 / H336 Irritating to eyes
R60 / H336 Irritating to eyes	R61 / H336 Irritating to eyes	R62 / H336 Irritating to eyes	R63 / H336 Irritating to eyes	R64 / H336 Irritating to eyes	R65 / H336 Irritating to eyes	R66 / H336 Irritating to eyes	R67 / H336 Irritating to eyes
R68 / H336 Irritating to eyes	R69 / H336 Irritating to eyes	R70 / H336 Irritating to eyes	R71 / H336 Irritating to eyes	R72 / H336 Irritating to eyes	R73 / H336 Irritating to eyes	R74 / H336 Irritating to eyes	R75 / H336 Irritating to eyes
R76 / H336 Irritating to eyes	R77 / H336 Irritating to eyes	R78 / H336 Irritating to eyes	R79 / H336 Irritating to eyes	R80 / H336 Irritating to eyes	R81 / H336 Irritating to eyes	R82 / H336 Irritating to eyes	R83 / H336 Irritating to eyes
R84 / H336 Irritating to eyes	R85 / H336 Irritating to eyes	R86 / H336 Irritating to eyes	R87 / H336 Irritating to eyes	R88 / H336 Irritating to eyes	R89 / H336 Irritating to eyes	R90 / H336 Irritating to eyes	R91 / H336 Irritating to eyes
R92 / H336 Irritating to eyes	R93 / H336 Irritating to eyes	R94 / H336 Irritating to eyes	R95 / H336 Irritating to eyes	R96 / H336 Irritating to eyes	R97 / H336 Irritating to eyes	R98 / H336 Irritating to eyes	R99 / H336 Irritating to eyes

NOTE: These H codes have different descriptions but imply the same meaning.

HAZARDS

Hazardous	Corrosive	Flammable	Toxic	Very Toxic	Corrosive
Explosive	Explosive	Explosive	Explosive	Explosive	Explosive
Explosive	Explosive	Explosive	Explosive	Explosive	Explosive
Explosive	Explosive	Explosive	Explosive	Explosive	Explosive

GHS

Toxic	Harmful / Irritant	Health Hazard	Explosive	Gas
Corrosive	Flammable	Corrosive	Explosive	Environmental
Corrosive	Flammable	Corrosive	Explosive	Environmental
Corrosive	Flammable	Corrosive	Explosive	Environmental

IN CASE OF FIRE *

Fire extinguisher: wet chemical	Fire extinguisher: carbon dioxide	Fire extinguisher: foam	Fire extinguisher: powder	Fire extinguisher: vapourising liquid	Fire extinguisher: water
Evacuate	Cool with water spray	Extinguish with water spray	Extinguish with water stream	Keep hose ready	In case of fire, call the brigade

FIRST AID *

Inhale clothing	Get to hospital	Eye wash	Wash hands	Wash body	Rest
-----------------	-----------------	----------	------------	-----------	------

STORAGE *

Do not store in cold conditions	Do not store in cold conditions	Do not store in hot conditions	Do not stack	Keep locked up
---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------	----------------

ENGINEERING CONTROLS

Turn on Cooling Fan	Turn on Back Fan	Back-Proof Fan	No Sparks	Open Windows
---------------------	------------------	----------------	-----------	--------------

SAFE HANDLING *

Wash hands after use	Do not eat food
----------------------	-----------------

www.chemwatch.net

info@chemwatch.net

CHেমWATCH

NFPAダイヤモンド



NFPAダイヤモンド

4つの区分は通常、色分けされており、青は健康被害のレベル、赤は可燃性、黄色 (化学) 反応性、白は固有の危険を示します。健康、可燃性、反応性はそれぞれ、0 (危険なし) から4 (重大なリスク) のスケールで評価されます。詳細については、<http://www.nfpa.org/> を参照してください。

ゴールドSDSのセクション2には、該当する場合、NFPAダイヤモンドが描かれます。このダイヤモンドまたはグラフィックをMSDSに表示するには、SDS設定パネルにチェックを入れる必要があります。

健康 (青)		可燃性 (赤)	
0	健康被害はなく、予防措置も必要なく、通常の可燃性物質 (水など) を超える危険性はありません。	0	通常の火災条件下では燃えない物質 (二酸化炭素など) で、コンクリート、石、砂などの本質的に不燃性の物質を含みます (空気中で816°Cの温度に5分間さらされても燃えない物質)。
1	暴露すると、軽微な残留損傷を伴う刺激を引き起こす可能性があります (例: アセトン)。	1	あらゆる周囲温度条件下で、発火および燃焼が発生する前にかなりの予熱を必要とする物質 (例: 鉱油)。発火する前に加熱を必要としない、細かく分散した浮遊固体も含まれます。(引火点は93.4°C以上)
2	激しいまたは継続的な暴露は、慢性的でなくとも、一時的な能力喪失または後遺症を引き起こす可能性があります (例: ジエチルエーテル)。	2	発火する前に適度に加熱するか、比較的高い周囲温度にさらす必要があります (例: ディーゼル燃料)。引火点は38°C〜93°Cです。
3	短時間の暴露で、一時的に重篤な、または中程度の残留傷害を引き起こす可能性があります (例: 塩素)。	3	ほぼすべての周囲温度条件下で発火する可能性のある液体および固体 (細かく分散した浮遊物質を含む) (例: ガソリン)。引火点が23°C未満で、沸点が38°C以上である液体、または引火点が23°Cから38°Cの間である液体。

4	非常に短時間の暴露でも死亡または重大な後遺症を引き起こす可能性があります（例：シアン化水素、ホスフィン、一酸化炭素、サリン）。	4	通常の大気圧と温度では急速にまたは完全に蒸発するか、空気中に容易に拡散して容易に燃焼します（例：アセチレン、ジエチル亜鉛）。自然発火性物質を含みます。引火点は23°C未満です。
特記事項（白）		不安定性（貴）	
白い「特記事項」のエリアには、複数のシンボルが含まれる場合があります。次のシンボルは、NFPA704規格で定義されています。		0	通常は安定しており、火災にさらされた状況でも、水と反応しない（例：ヘリウム）
OX	酸化剤（例：過塩素酸カリウム、硝酸アンモニウム、過酸化水素）	1	通常は安定しているが、高温や高圧になると不安定になることがある（例：プロペン）
W	水と異常または危険な反応を起こす（例：セシウム、ナトリウム、硫酸）	2	高温高圧下で激しい化学変化を起こし、水と激しく反応し、または水と爆発性の混合物を形成する可能性がある（例：白リン、カリウム、ナトリウム）
SA	単純な窒息性ガス。具体的には、窒素、ヘリウム、ネオン、アルゴン、クリプトン、キセノンのガスに限定される	3	爆発または爆発分解する可能性があるが、強力な起爆源が必要であり、起爆前に密閉状態で加熱する必要がある。水と爆発的に反応するか、または強い衝撃を受けると爆発する（例：硝酸アンモニウム、三フッ化塩素）
		4	常温常圧で容易に爆発または爆発分解する可能性がある（例：ニトログリセリン、アジ化塩素、二酸化塩素）

ケムウォッチEラーニング

学習サイトを通じてソフトウェア アプリケーションについてさらに学習するための入り口としてトレーニング ライブラリを提供しています。提供されているリンクを使用してeラーニングクイックスタートガイド、製品、翻訳、コースにアクセスしてください。

QUICK START GUIDE	PRODUCTS	TRANSLATIONS	COURSES
A collection of short videos to get you started.	Complete training presentations for the Chemwatch applications.	Translated training modules in multiple languages.	Accredited and non-accredited courses in chemicals management and safety

<https://chemwatch.training/bh-home/>

トレーニング

ケムウォッチではアプリケーションに関するトレーニングを提供しています。詳細については、メールでお問い合わせください。 training@chemwatch.net.

IT'S NOT THE HAZARD
IT'S THE RISK!

ケムウォッチ
〒160-0022
東京都新宿区新宿
1丁目36-2

電話: +81 50 3033 5890
Eメール: japan@chemwatch.net
ウェブサイト: www.chemwatch.net/ja